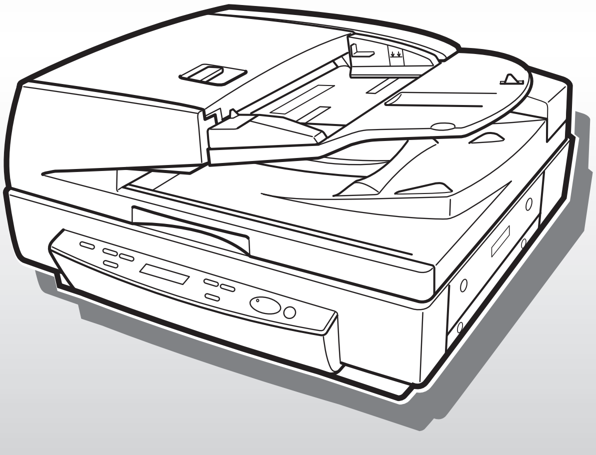
ドキュメントスキャナ

DR-7080C

取扱説明書



ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も、大切に保管してください。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機およびスキャナ等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

■ご注意

・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
・ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
・ 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■複製についてのご注意

・ 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
・ 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

■商標および登録商標について

・ Microsoft Windows®、Windows NT® は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標です。
・ ISIS は、EMC Corporation. の米国における商標です。
・ その他、本書中の商品名や製品名は、各社の登録商標または商標です。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ソフトウェア製品のパッケージ開封前に必ずお読みください。

このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

弊社では、弊社のハードウェア製品と同梱のソフトウェア製品につきましては、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書を設けさせていただいており、お客様が下記契約書にご同意いただいた場合にのみソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本ソフトウェア製品のパッケージの開封前に下記契約書を十分にお読みください。下記契約にご同意いただけない場合には、本ソフトウェア製品を未開封のまま速やかに他の未使用の同梱製品とともにお買い上げいただいた販売店にご返却ください。この場合、お支払い済の代金をお返し致します。

なお、本ソフトウェア製品のパッケージを開封された場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン電子株式会社（以下キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供するソフトウェア製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾プログラム」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾プログラム」およびその複製物に関する権利はその内容によりキヤノンまたはキヤノンのライセンサーに帰属します。

1. 使用許諾

(1) お客様は、機械読取形態の「許諾プログラム」を一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾プログラム」を使用したり、また「許諾プログラム」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。

(2) お客様は、「許諾プログラム」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。

(3) お客様は、本契約に特に定められている場合を除き、「許諾プログラム」の全部または一部を複製、翻訳、他のプログラム言語への変換、修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また、第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2. 「許諾プログラム」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾プログラム」中のソフトウェア・プログラムを1コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾プログラム」中のソフトウェア・プログラムをお客様がご使用のコンピュータのハードディスクなどの記憶装置1台のみにコピーすることができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾プログラム」を複製できません。お客様は、「許諾プログラム」の複製物に含まれる著作権表示を改変あるいは除去してはなりません。

3. 保証

キヤノンは、お客様が「許諾プログラム」を購入した日から90日の間、通常の使用状態にて、「許諾プログラム」が格納されている「プログラムディスク」に物理的な欠陥がないことを保証します。この保証は、「プログラムディスク」の欠陥が「許諾プログラム」の事故あるいは誤用による場合には適用しないものとします。この保証は、「許諾プログラム」に関するキヤノンの保証のすべてであり、お客様ご自身に対してのみ保証いたします。

4. サポートおよびアップデート

キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」のメンテナンスおよびその使用についての援助を行わないものとします。「許諾プログラム」のアップデート、修理、およびサポートも行いません。

5. 保証の否認・免責

(1) 第3項に定める場合を除き、キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾プログラム」にバグがないこと、その他「許諾プログラム」に関していかなる保証もいたしません。

(2) キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾プログラム」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

6. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾プログラム」を直接または間接に輸出してはなりません。

7. 契約期間

(1) 本契約は、お客様が「許諾プログラム」のパッケージを開封した時点で発効します。
(2) お客様は、キヤノンに対して30日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
(3) お客様は、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去することにより本契約を終了させることができます。
(4) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
(5) 本契約は、上記(2)、(3)または(4)により終了するまで有効に存続します。上記(2)、(3)または(4)により本契約が終了した場合、キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾プログラム」の代金の返還をキヤノンおよび販売店に請求できません。
(6) お客様には、本契約の終了後2週間以内に、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

8. 一般条項

(1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
(2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

9. U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE:

The SOFTWARE is provided with RESTRICTED RIGHTS. Use, duplication or disclosure is subject to restrictions as set forth in either subparagraph (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software Clause at DFARs 252.227-7013 or subparagraph (c) (1) and (2) of the Commercial Computer Software Restricted Rights Clause at FAR 52.227-19, as applicable.

10. 完全合意

本契約は「許諾プログラム」の使用に関して当事者間の合意のすべてを構成するものであり、当該事項に関する書面または口頭によるすべての事前および同時発生の理解や合意に優先します。本契約のいかなる修正や変更も書面によってなされ、正式に権限を授与されたキヤノンの代表者によってかかる書面に署名された場合にのみ発効するものとします。

以上

キヤノン電子株式会社

はじめに

このたびはキヤノンドキュメントスキャナ DR-7080Cをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本機の機能を充分にご理解いただき、より効果的にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みいただくとともに、お読みになった後はなくさないように必ず保管してください。

マニュアルの構成について

DR-7080C スキャナのマニュアルは、「簡単スタートガイド」、「取扱説明書（本書）」の同梱マニュアルと、「CapturePerfect 操作ガイド」、「オンラインヘルプ」の電子マニュアルの構成になっています。
同梱品の確認からソフトウェアのインストール、コンピュータとの接続など、スキャナのセットアップについては「簡単スタートガイド」、スキャナの準備からスキャンなど、スキャナの取り扱いについては「取扱説明書」を参照してください。

DR-7080C には以下のマニュアルが同梱またはインストールされます。
DR-7080C をお使いになる前に必ずお読みください。

簡単スタートガイド

DR-7080C を箱から取り出してからスキャンを行なうまでのセットアップの手順について書かれています。

取扱説明書（本書）

DR-7080C の取り扱いからソフトウェアの設定、メンテナンス、困った時のトラブルシューティングなどについて書かれています。

Captuerperfect 操作ガイド（電子マニュアル）

Captuerperfect の操作マニュアルです。CaptuerPerfect のインストールと同時に操作ガイドもコンピュータにインストールされます。（→ P.34）

本書内の表記について

ここでは、本書で使用している記号・表示について説明します。
本書をお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

お願い

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

メモ

操作の参考になることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

目次

はじめに 1
マニュアルの構成について 1
本書内の表記について 2

⚠ 安全にお使いいただくために 6
日常の取り扱いについて 6
設置場所について 8
電源について 9
フィーダの開閉について 9
移動するとき 10

第 1 章　お使いになる前に

1.1　DR-7080C の特長 12
1.2　使用前の確認 14
輸送用ビス取り外しの確認 14
1.3　各部の名称とはたらき 15
フィーダ部 15
フラットベッド部 16
背 面 17
操作パネル 18
1.4　ジョブ機能について 19
1.5　オプション品について 20
スタンプユニット 20

第 2 章　使用前の準備

2.1　動作環境の確認 22
2.2　コンピュータとの接続 24
USB 接続 24
SCSI 接続 25
◆ SCSI ID とターミネータの設定 26
電源コード、アースコードの接続 28
2.3　電源の ON・OFF 29
電源の ON 29
電源の OFF 30

第3章　ソフトウエアのセットアップ

3.1　ソフトウエアについて 32
3.2　ソフトウエアの使用方法 33
ISIS/TWAIN ドライバのヘルプの表示方法 33
CapturePerfect の起動方法 34
JOB 登録ツールの起動方法 35
3.3　ソフトウエアのアンインストール 37

第4章　スキャナの使用方法

4.1　原稿について 40
原稿の種類 40
原稿の積載量 41
4.2　原稿をセットする 42
フィーダへの原稿のセットについて 42
フラットベットへの原稿のセットについて 44
4.3　給紙方法とスキャン手順 47
給紙方法について 47
◆標準給紙 48
◆パネル給紙 49
◆自動給紙 50
4.4　その他のスキャン方法 51
ジョブ機能によるスキャン 51
◆イベント機能の設定 52
カウントオンリーモード 55
パッチコードシートの利用 56
◆パッチコードシートについて 56
◆パッチコードパターンの種類 56
◆パッチコードシートの使い方 57

第5章　ユーザーモード

5.1　ユーザーモードについて 60
ユーザーモードの機能 60
ユーザーモードの設定方法 62

第 6 章　困ったときは

6.1　スキャナが認識されないとき 64
SCSI 接続の場合 64
USB 接続の場合 66
6.2　用紙がつまったとき 67
紙づまりの処理 67
紙づまりの原因 70
6.3　スキャン結果がおかしいとき 71
6.4　メッセージが表示されるとき 72
エラーメッセージ 72
スキャナの状態表示 74
6.5　こんなときは 75

第 7 章　メンテナンス

7.1　スタンプカートリッジの交換 78
7.2　日常のお手入れ 80
本体の清掃 80
原稿台ガラス / 黒色圧着板の清掃 81
フィーダ部の清掃 82
電源プラグの清掃 86

付　録

仕 様 88
本体仕様 88
オプション 89
消耗品 89
外形寸法図 90
保証とアフターサービス 91
サービス＆サポートのご案内 92
保守サービスのご案内 93
ジョブタイトル控え 94
索 引 96

⚠ 安全にお使いいただくために

日常の取り扱いについて

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

警告

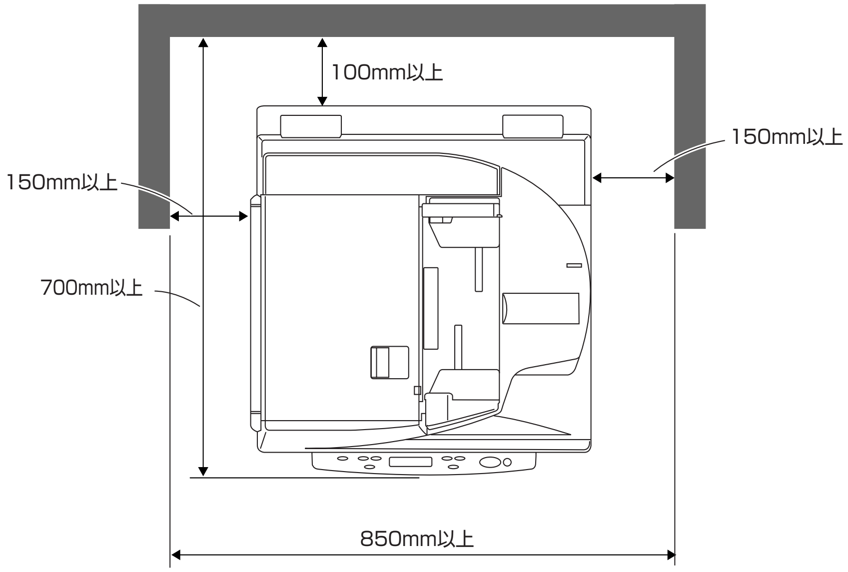
- ■ アルコール、ベンジン、シンナーなど引火性のある有機溶剤の近くには設置しないでください。
- ■ 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- ■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- ■ たこ足配線をしないでください。
- ■ 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- ■ 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- ■ 使用時は、付属のアースコードを必ず接続してください。
  また、アースコードはガス管や水道管には絶対に接続しないでください。火災の原因になります。
- ■ スキャナを分解したり、改造しないでください。
- ■ スキャナの近くで可燃性のスプレーを使用しないでください。
- ■ 清掃の際は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ■ スキャナの清掃には、中性洗剤を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ■ 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- ■ スキャナを落としたりぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一スキャナが破損した場合は、直ちに電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- ■ スキャナを移動させる場合は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ■ スキャナの質量は約33.6kgです。1人で運搬すると、落としたり、手をはさんだりして大けがをすることがありますので必ず2人で運んでください。

■ **心臓ペースメーカーをご使用の方へ**
本製品から微弱な磁気が発生しています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。

注意

■ ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動する場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。
■ スキャナ側面および背面にある通気孔は、絶対にふさがないでください。スキャナの内部に熱がこもり、火災の原因になります。
■ スキャナの上には、コップ、花瓶など水の入った容器、クリップ、ステープルの針、ネックレスなどの金属を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になります。万一これらがスキャナの中に入ってしまった場合は、直ちに電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
■ 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になります。
■ スキャナの上には重いものを載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になります。
■ 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
■ いつでも電源コードが抜けるように、コンセントのまわりには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。
■ スキャナの内部に、水や引火性の有機溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー）などをこぼさないでください。火災や感電の原因になります。
■ 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
■ スキャナを操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など操作中のスキャナに引っ掛かりそうなものを身につけないでください。スキャナに巻き込まれてけがの原因になることがあります。とくにネクタイや長い髪などはご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて機械を停止してください。
■ 原稿をセットするときや、つまった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。
■ スキャナの動作中に上部ユニットを開かないでください。故障、けがの原因になります。
■ スキャナのコネクタ部のピンや接点部分に直接手で触れないでください。故障の原因になります。
■ フィーダを開く時は、後方へ倒れないように静かに開いてください。故障、けがの原因になります。
■ フィーダを閉じる時は、手を挟まないように静かに閉じてください。故障、けがの原因になります。
■ フラットベットに厚い本などをセットしてスキャンするときは、フィーダを上から強く押さえ付けないでください。フラットベットのガラスが破損して故障、けがの原因になります。
■ フラットベットのガラスの上には、スキャンする原稿以外のものを乗せないでください。故障、けがの原因になります。

設置場所について



本機の回りには操作、保守、換気のために上の図のような充分なスペースを確保してください。

次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因になったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

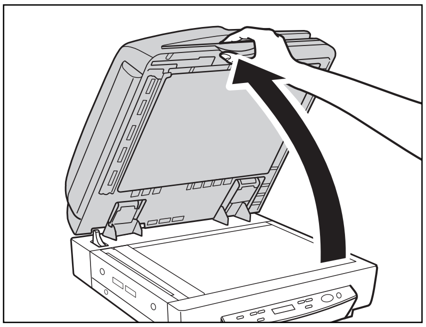
●直射日光の当たる場所
→やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
●ほこりの多い場所やたばこの煙の発生する場所
→ほこりやたばこの煙は本体内部に悪影響を及ぼす原因になります。
●水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所
●不安定な場所や、振動しやすい場所
●湿度が急激に変化する場所
→本体内部で結露が発生すると品質低下の原因になります。以下の環境でお使いください。
室温　15℃～30℃
湿度　25%～80%RH
●スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気を発生する機器の近く

電源について

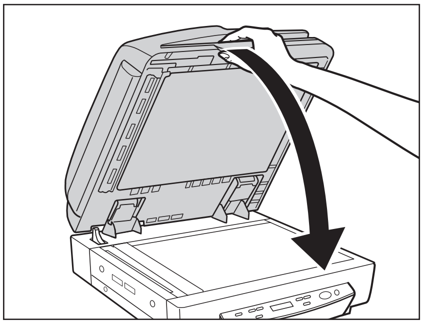
■ 電源は必ず 100 V（50/60Hz）のコンセントに接続してください。
■ 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
■ 使用時は必ず付属のアースコードを接続してください。アースコードはガス管や水道管には絶対に接続しないでください。
■ 電源について不明な点があるときは、販売店や電力会社におたずねください。
■ 電源コードの上に物を置いたり、踏んだりしないでください。
■ 電源コードを束ねたり、テーブルや椅子の足に巻きつけたりしないでください。
■ 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、コンセントから抜いてください。
■ コンセントのまわりには物を置かないでください。

フィーダの開閉について

■ フィーダを開く時は、本機が後方へ倒れないように静かに開いてください。

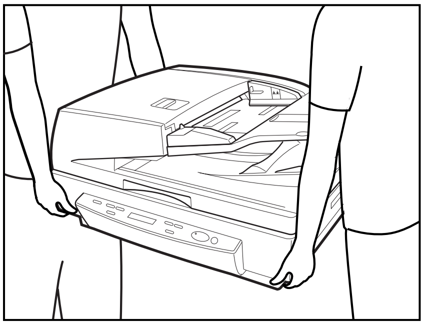


■ フィーダを閉じる時は、手を挟まないように静かに閉じてください。



移動するとき

スキャナを移動させるときは、2人で両側からしっかりと持ち、十分注意して運搬してください。





警告

■ スキャナの質量は約33.6kgです。1人で運搬すると、落としたり、手をはさんだりして大けがをすることがありますので必ず2人で運んでください。

■ スキャナを移動させるときは必ず電源をOFFにし、接続されているケーブルは外してください。ケーブルを接続したまま移動させると、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷することがあります。

■ **心臓ペースメーカーをご使用の方へ**

本製品から微弱な磁気が発生しています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。

第 1 章

お使いになる前に

ここでは、スキャナの特長、および各部の名称とはたらきについて説明します。

1.1 DR-7080C の特長 12
1.2 使用前の確認.. 14
輸送用ビス取り外しの確認 14
1.3 各部の名称とはたらき 15
フィーダ部 15
フラットベット部... 16
背 面 17
操作パネル 18
1.4 ジョブ機能について 19
1.5 オプション品について 20
スタンプユニット.. 20

1.1 DR-7080C の特長

DR-7080C は、大量の文書を高速処理するためのフィーダを搭載したフラットベットスキャナです。DR-7080C の主な特長は次のとおりです。

- **白黒 2 値、グレースケール、24 ビットカラー出力対応**

  白黒 2 値、グレースケール、24 ビットカラー出力に対応しています。

- **高速スキャン**

  フィーダにより A4 サイズの原稿を、最大 70 枚／分の高速でスキャンします。

- **両面スキャン**

  フィーダで両面原稿を読み取る場合、おもて面を読み取ったあとに、原稿を自動反転させてから裏面を読み取ります。

- **フラットベット**

  薄紙やすべりの悪い原稿、雑誌や綴じられた原稿など、フィーダで読み取ることのできない原稿をフラットベットで読み取ります。

- **大容量、高性能給紙機能**

  ・大容量の給紙トレイにより、最大 100 枚（A4）の原稿を一度にセットできます。
  ・原稿サイズを自動的に検知して調整しますので、あらかじめ設定する必要はありません。また、サイズの異なる用紙が混在した原稿を一緒にセットできるなど、給紙機能に優れています。

- **ジョブ機能**(*1)

  スキャナの Job キーで Job を選択し、Start キーで読み取を開始します。読み取った画像を、指定したフォルダ、プリンタ、電子メールに直接送信します。(→ P.19「ジョブ機能について」)

- **斜行補正**

  原稿が斜めに給紙されたことを読み取った画像から検知し、画像をまっすぐに補正します。

- **文字向き検知**

  原稿内の文字の向きを検知し、文字の向きが正しい向きになるように読み取った画像を 90 度単位で回転させます。

- **高耐久性**

  最高 400 万枚のスキャンが可能です。

- **アドバンストテキストエンハンスメント**

  濃い下地の上に文字がある原稿や鉛筆書きなどの薄い文字がある原稿、黒以外の文字がある原稿の文字を強調して読み取るモードで、文字の周囲の下地は除去されます。

- **ドロップアウトカラー**

  原稿の中の特定の色を読み取らないようにする(ドロップアウト)機能を装備しています。

● **スタンプ（オプション）**

フィーダで読み取った原稿の後端に、スキャン済みのスタンプを押印します。（→ P.20「オプション品について」）

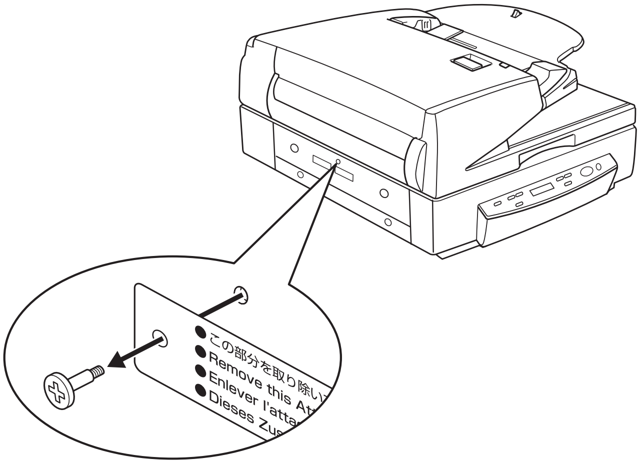
(*1) お使いのコンピュータの OS が Windows NT の場合、この機能は使用できません。

1.2 使用前の確認

DR-7080C を使用する際に、以下の確認を行なってください。
・固定用ビス取り外しの確認

輸送用ビス取り外しの確認

本製品は輸送時の振動等による光学ユニットの破損を防ぐため、出荷時に光学ユニットをビスで固定しています。使用前に、このビスが取り除かれていることを必ず確認してください。



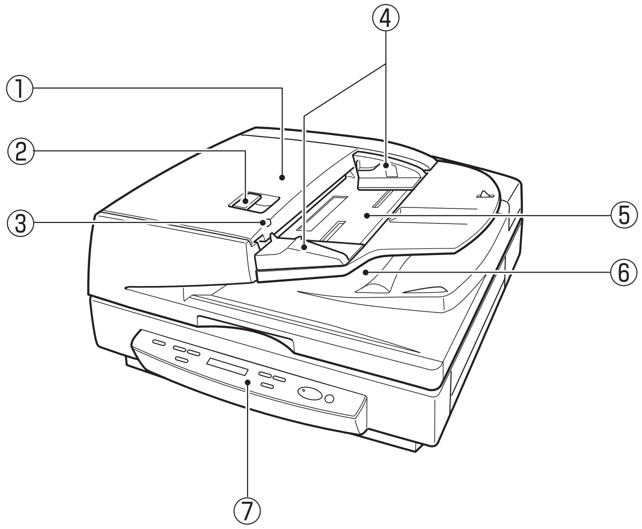
注意

> 輸送用ビスが取り除かれていない状態でスキャナの電源をオンにすると、本機が故障する場合があります。輸送用ビスが取り除かれていないときは、電源を入れる前に必ず輸送用ビスをタグと一緒に取り除いてください。

1.3 各部の名称とはたらき

ここでは、各部の名称とはたらきについて説明します。接続する前に確認してください。

フィーダ部



① **フィーダカバー**
原稿が詰まったときやローラの清掃時に開きます。(→ P.67, 78)

② **開閉レバー**
フィーダカバーの開閉レバー。

③ **原稿セット表示**
原稿給紙トレイに原稿がセットされると点灯します。(→ P.42)また、紙詰まりが起きたときには点滅状態になります。(→ P.67)

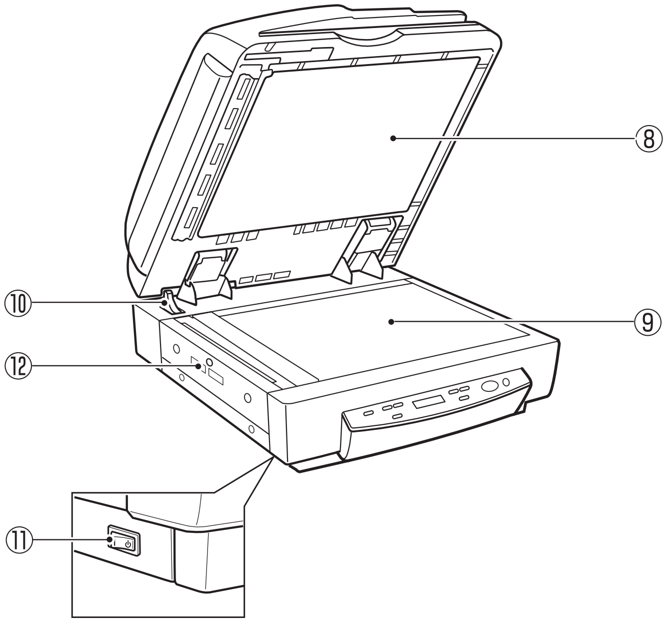
④ **スライドガイド**
原稿サイズラベルに合わせて位置を調整します。(→ P.42)

⑤ **原稿給紙トレイ**
原稿をセットします。(→ P.42)

⑥ **原稿排紙トレイ**
読み取った原稿が排紙されます。排紙された原稿は、原稿給紙トレイを上に上げて取り除きます。(→ P.43)

⑦ **操作パネル**(→ P.18)

フラットベット部



⑧ **黒色圧着板**
フラットベットに置いた原稿を押さえます。（→ P.44）

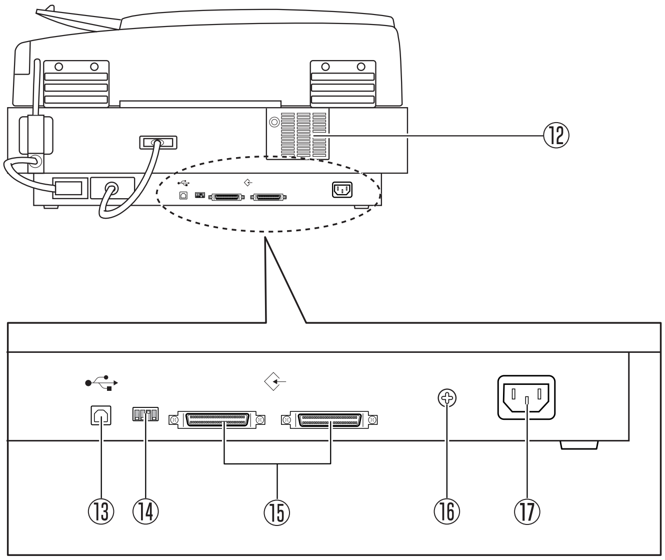
⑨ **フラットベット（原稿台ガラス）**
原稿を左奥の矢印マークに合わせてセットします。（→ P.44）

⑩ **開閉検知センサ**
フィーダの開閉を検知します。（→ P.44）

⑪ **電源スイッチ**
（→ P.29）

⑫ **通気孔**

背面



⑫ **通気孔**

⑬ **USB コネクタ**
Hi-Speed USB2.0 に対応した USB ケーブルを接続します。（→ P.24）

⑭ **ディップスイッチ**
SCSI ID およびターミネータのオン / オフを設定します。（→ P.26）

⑮ **SCSI コネクタ**
SCSI ケーブル：ハーフピッチ 50 ピン（ピンタイプ）を接続します。（→ P.25）

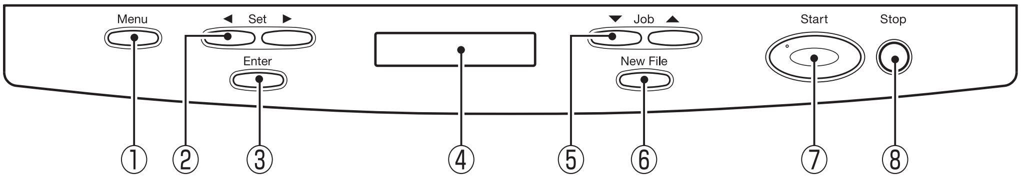
⑯ **アース端子**
同梱のアース線を接続します。（→ P.28）

⑰ **電源コネクタ**
同梱の電源コードを接続します。

注意

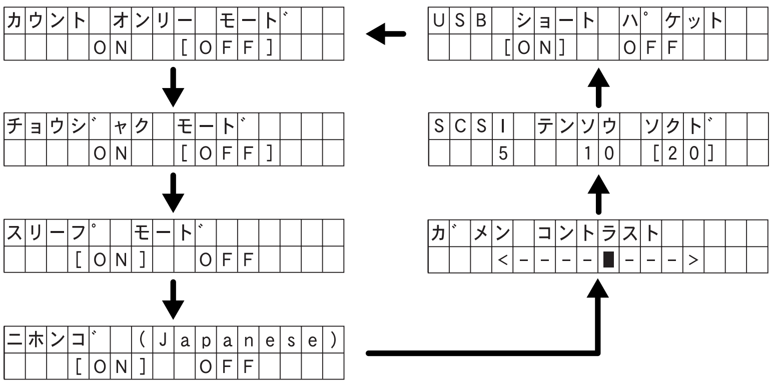
- **背面左側にあるケーブル類には手を触れないでください。ケーブルが外れた場合、本機の故障の原因になります。**
- **通気孔をふさがないでください。スキャナの内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。**

操作パネル



① Menu キー

このキーを押すと、表示パネルにユーザーモードが表示され、繰り返し押すと、ユーザーモードが切り替わります。(→ P.60「ユーザーモードについて」)



② Set キー

ユーザーモードの設定を変更します。(→ P.62)

③ Enter キー

ユーザーモードの変更を確定します。(→ P.62)

④ 表示パネル

スキャンした原稿の枚数やエラーコードなどが表示されます。

⑤Jobキー

登録されているジョブ(01 ～ 99)を表示します。(→ P.19「ジョブ機能について」)
ジョブが表示された状態でStartキーを押すと、原稿の読み取りが行なわれ、登録したジョブに読み取った画像が送られます。

⑥New Fileキー

アプリケーションが「バッチ区切り」に対応している場合に有効です。このキーを押して、またはアプリケーションのバッチ区切り設定によりこのキーが点灯します。この状態で次の原稿をスキャンすると、スキャン結果の画像が前の原稿とは別のファイルやフォルダに保存されます。

⑦ Start キー

Count Onlyキーまたはアプリケーションの設定でスタートキーが有効になるとLEDが点灯します。このときスタートキーを押してスキャンを開始します。

⑧ Stop キー

スキャンを途中で停止させます。
設定したモードの解除や、カウンタ表示部のエラー表示を解除するときにも使用します。

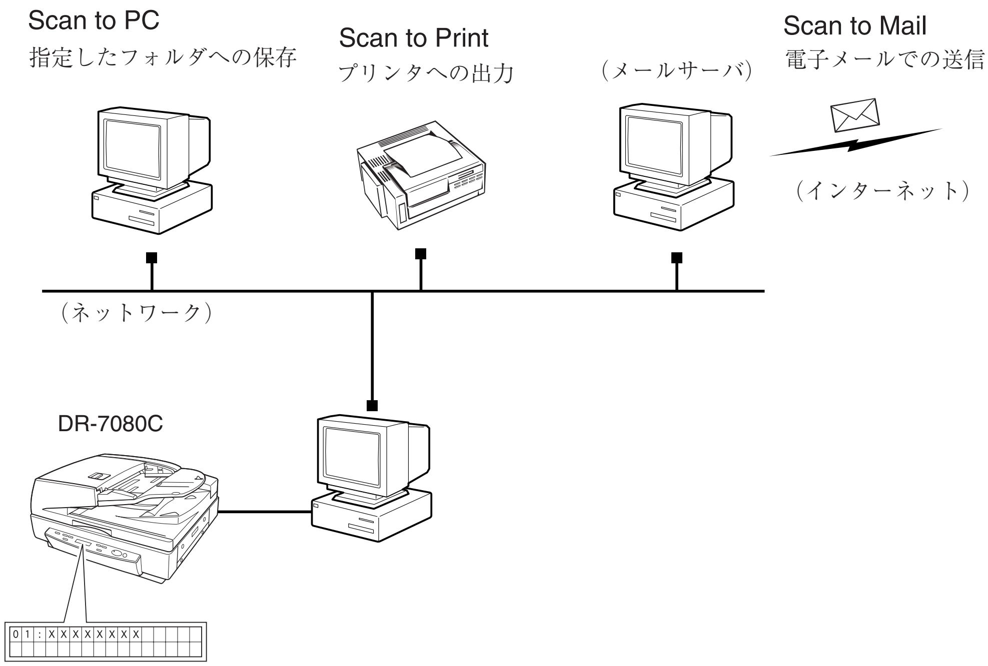
1.4 ジョブ機能について

本機には、スキャニングアプリケーションを起動させずにスキャンを行なうための「ジョブ機能」が用意されています。「ジョブ機能」は、パネル操作で、スキャンを行ない、選択したジョブにしたがい、画像ファイルを転送します。

ジョブ機能には以下の機能があり、ジョブ登録ツールを使用して登録します。(→ P.35「ジョブ登録ツールの起動方法」)

・共有フォルダなど指定したフォルダへの保存。　(Scan To PC)
・電子メールに添付して送信（Scan To Mail）
・指定したプリンタへの出力（Scan To Printer）

ジョブ機能の使用方法については51ページ「ジョブ機能によるスキャン」を参照してください。



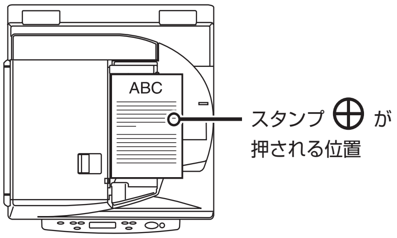
メモ
お使いのコンピュータのOSがWindows NTの場合、この機能は使用できません。

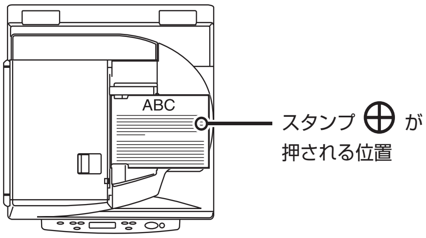
1.5 オプション品について

DR-7080Cには以下のオプション品が用意されています。必要に応じてお買い求めください。詳細についてはお買い求めになった販売店または担当サービスにお問い合わせください。

スタンプユニット

フィーダで読み取った原稿にスキャン済のスタンプを押印します。押印のオン/オフは、アプリケーションで設定します。
スタンプのパターンは、約3mmの円に十字のパターンで原稿のスキャンされる面、搬送方向後端から約 7mm の位置に押印されます。





メモ

- スタンプのパターンは変更できません。
- 両面スキャンの場合は、両面に押印されます。
- スタンプの十字の向きは、スキャン中に回転します。

第 2 章

使用前の準備

ここでは、スキャナを接続し、電源スイッチを入れるまでの手順について説明します。

2.1 動作環境の確認 22
2.2 コンピュータとの接続 24
USB 接続 24
SCSI 接続 25
◆ SCSI ID とターミネータの設定 26
電源コード、アースコードの接続 28
2.3 電源の ON・OFF 29
電源の ON 29
電源の OFF 30

2.1 動作環境の確認

DR-7080Cを使用するには、コンピュータが次のシステム要件を満たしている必要があります。

● **オペレーティングシステム**

- · Microsoft Windows 98SE
- · Microsoft Windows Me
- · Microsoft Windows NT 4.0 Workstation SP6
- · Microsoft Windows 2000 Professional SP3 以上
- · Microsoft Windows XP SP1 以上

● **パーソナルコンピュータ**

- · CPU：Intel Celeron 733MHz 以上
- · メモリ：256MB 以上
- · ハードディスク：100MB 以上の空き容量
- · USB インタフェースまたは、SCSI カード
- · モニタ：解像度 1024 × 768(XGA)以上

● **USB インタフェース は接続する OS によって以下のようになります。**

- · Windows 98SE/Me：USB Full-Speed (USB1.1 相当)
- · Microsoft Windows NT 4.0：USB インタフェース 未対応
- · Windows 2000/XP：Hi-Speed USB 2.0 /USB Full-Speed (USB1.1 相当)

● **SCSI カードは、本機が推奨する以下の SCSI カードをお使いください。**

Adaptec 社製 SCSI カード（PCI バス用）

- · AHA-2930U
- · AHA-2940AU
- · ASC-19160
- · ASC-29160

Adaptec 社製 SCSI カード（Card bus 用）

- · APA-1480

● **上記のオペレーティングシステムで正常に動作する ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア。**

お願い

- お使いのOSがWindows NTの場合、ジョブ機能は使用できません。ジョブ機能を使用する場合には、Windows NT以外のOSでお使いください。
- お使いのコンピュータのシステム要件が不明な場合には、コンピュータをお買い求めになった販売店または、コンピュータメーカーのサポート窓口にお問い合わせください。
- USBインタフェースとSCSIカードは同時に接続しないでください。
- USBインタフェースで使用する場合、以下の点に注意してください。
  - ・Windows NTの場合、USBインターフェースをサポートしておりません。Windows NTで本機を使用する場合は拡張SCSIカードをお使いください。
  - ・USB2.0ドライバはマイクロソフト社から提供されている最新のドライバをお使いください。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
  - ・コンピュータに標準装備されたすべてのUSBインタフェースにおいて、動作を保証するものではありません。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
  - ・コンピュータに標準装備されたUSBインタフェースがUSB Full-Speed (USB1.1相当）の場合、スキャン速度が低下します。
  - ・USBケーブルは、同梱品またはHi-Speed USB2.0対応のケーブルをお使いください。
- SCSIカードで使用する場合、以下の点に注意してください。
  - ・SCSIカードのコンピュータへの取り付けは、必ずお使いのSCSIカードおよびコンピュータの取扱説明書に記載されている手順にしたがって行ってください。
  - ・使用できるSCSIケーブルの総延長は、SCSIの規格によって決められています。詳細は、お使いのSCSIカードの取扱説明書を参照してください。
  - ・APA-1480はWindows NT 4.0 Workstation日本語版では動作しません。
- CPU、メモリ、インタフェースカード等、コンピュータの推奨仕様を満たさない場合、スキャン速度が大幅に低下したり転送速度に時間を要する場合があります。
- コンピュータの推奨仕様を満たしている場合でも、読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。
- 同梱されているISIS/TWAINドライバは、すべてのISIS互換アプリケーションソフトウェアまたはTWAIN互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。

2.2 コンピュータとの接続

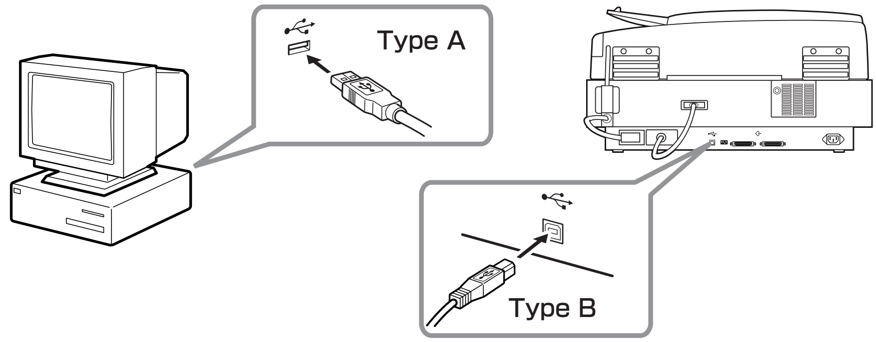
コンピュータとの接続方法には SCSI 接続と USB 接続の 2 つがあります。お使いのコンピュータの環境に合わせて接続方法をお選びください。

注意

- ■ アプリケーションが動作中のときはスキャナの電源をオフにしたりインターフェースケーブルを抜かないでください。
- ■ SCSI ケーブルと USB ケーブルを同時に接続しないでください。
- ■ 接続方法を変更する場合は、スキャナおよびコンピュータの電源を OFF にした状態で行ってください。

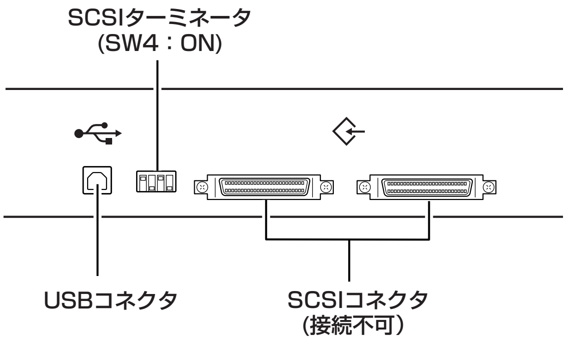
USB 接続

スキャナとコンピュータを同梱の USB インターフェースケーブルで接続します。
USB ケーブルはプラグに付いている USB ロゴを上にし、USB コネクタに差し込みます。



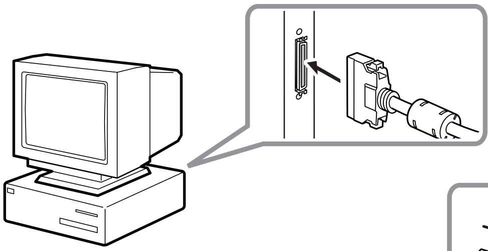
注意

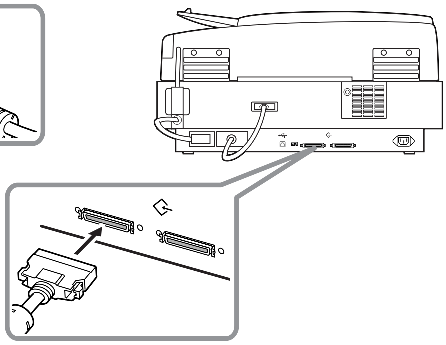
- ■ USB ケーブルと SCSI ケーブルは、同時に接続しないでください。
- ■ USBインターフェースで使用する場合、SCSI ターミネータはONにしてお使いください。SCSI ターミネータがOFF になっていると正常にスキャンすることができない場合があります。



SCSI 接続

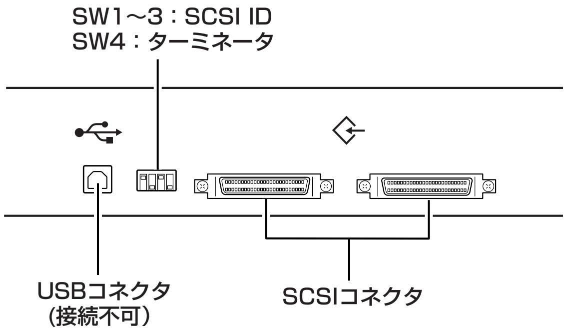
スキャナとコンピュータをSCSIケーブルで接続します。
SCSIコネクタは2つあり、コネクタの向きに注意して片方のコネクタに差し込みます。
他のSCSI機器とディジーチェーン接続する場合は、もう一方のコネクタに別のSCSI機器のコネクタを差し込みます。





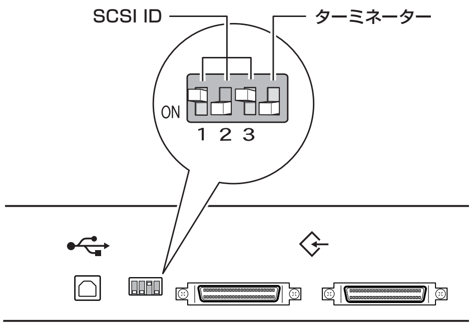
注意

- SCSIケーブルの接続は必ず、スキャナおよびコンピュータの電源をOFFにした状態で行ってください。
- USBケーブルとSCSIケーブルは、同時に接続しないでください。
- ディジーチェーン接続で他のSCSI機器する場合は以下の点に注意し、設定を変更するときは本機の電源をOFFにした状態で行ってください。
  - ・SCSI IDを重複させない。
  - ・ターミネータは、終端になるSCSI機器のターミネーターをオンにし、その他のSCSI機器のターミネータは必ずオフにします。



◆ SCSI ID とターミネータの設定

SCSI コネクタと電源コネクタの間にあるディップスイッチで、SCSI ID とターミネータを設定します。
ディップスイッチの設定は、スイッチを上にすると[OFF]になり、スイッチを下にすると[ON]になります。



SCSI ID	SW1	SW2	SW3
0	OFF	OFF	OFF
1	ON	OFF	OFF
2	OFF	ON	OFF
3	ON	ON	OFF
4	OFF	OFF	ON
5	ON	OFF	ON
6	OFF	ON	ON
7	ON	ON	ON

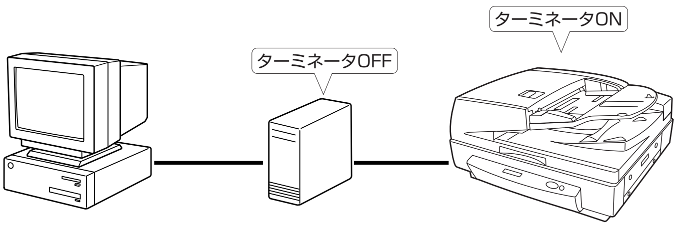
SCSI ID は右の表を参考にして設定してください。
他の SCSI 機器がコンピュータに接続および内蔵されている場合は、SCSI ID が重ならないように注意してください。

お願い

- SCSI ID は、出荷時の状態では「2」に設定されています。
- SCSI ID は、0～7が設定できますが、通常７は SCSI コントローラに割り当てられていますので使用しないでください。また、SCSI接続のハードディスクが内蔵されている場合、通常０と１はハードディスクに割り当てられていますので使用しないでください。

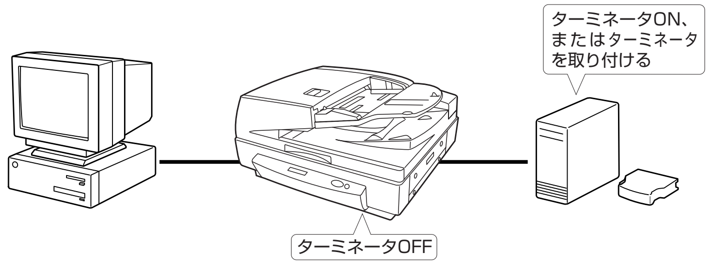
ターミネータは、デイジーチェーン接続された最後のSCSI機器のターミネータをONにします。

＜コンピュータとスキャナのみを接続した場合や、デイジーチェーンの最後にスキャナがある場合＞
ターミネータスイッチを ON にします。
このとき、途中の SCSI 機器のターミネータは必ず OFF にしてください。



<他の SCSI 機器がデイジーチェーンの最後になっている場合>

スキャナのターミネータスイッチを OFF にします。
このとき、最後に接続した SCSI 機器のターミネータを ON にします。



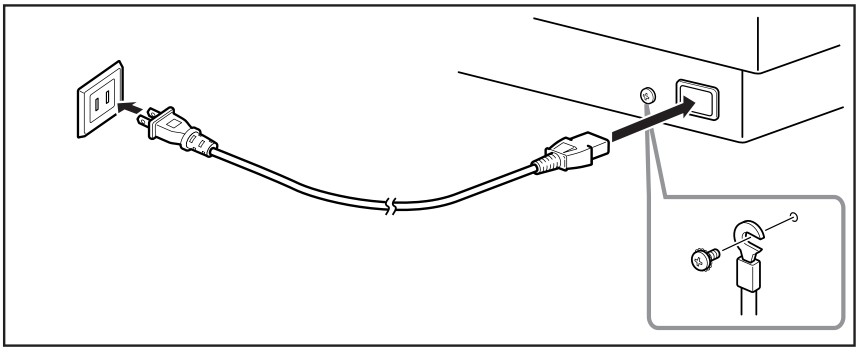
注意

本機をデイジーチェーンの最後にしたときのターミネータの設定は、必ずディップスイッチか、ターミネータプラグのどちらかで行ってください。ディップスイッチがONの状態でターミネータプラグを使用すると誤動作を起こす場合がありますので注意してください。

第2章

電源コード、アースコードの接続

電源コードおよびアースコードを本体に接続します。
電源コードおよびアースコードは、必ず付属のものをご使用ください。





警告

電源コードおよびアースコードを接続のときは次のことをお守りください。火災や感電の原因になります。

■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
■ たこ足配線をしないでください。
■ 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
■ 付属の電源コード以外は使用しないでください。
■ 電源コードの接続は必ず電源スイッチが OFF の状態で行ってください。
■ 電源は必ず 100 V（50/60Hz）のコンセントに接続してください。
■ 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
■ アースコードは絶対にガス管や水道管には接続しないでください。スキャナ使用時に引火や爆発および感電の恐れがあります。

2.3 電源の ON・OFF

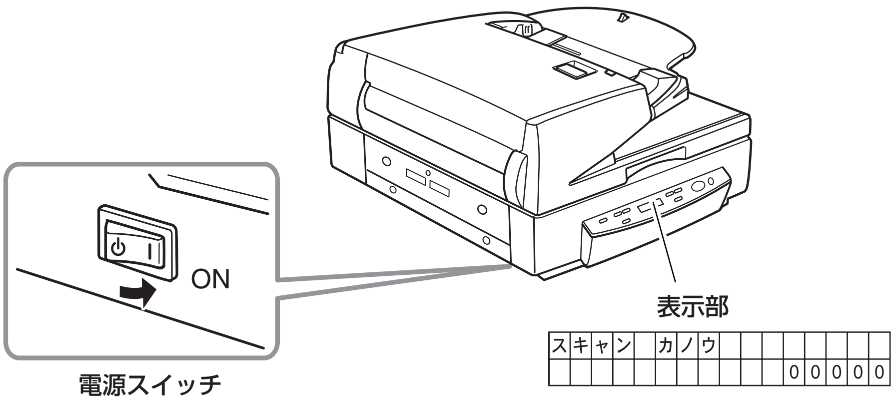
スキャナの電源は次の手順で ON または OFF にします。

電源の ON

> **お願い**
> **必ず、接続されている SCSI 機器の電源をすべて ON にしてから、コンピュータの電源を ON にしてください。**

1 スキャナの電源スイッチを押して電源を ON にします。

⇨ 表示部が以下の表示になります。



> **警告**
> **異常音、発煙、発熱、異臭があり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い上げの販売店または担当サービスにご連絡ください。そのまま使用を続けると火災の原因になります。**

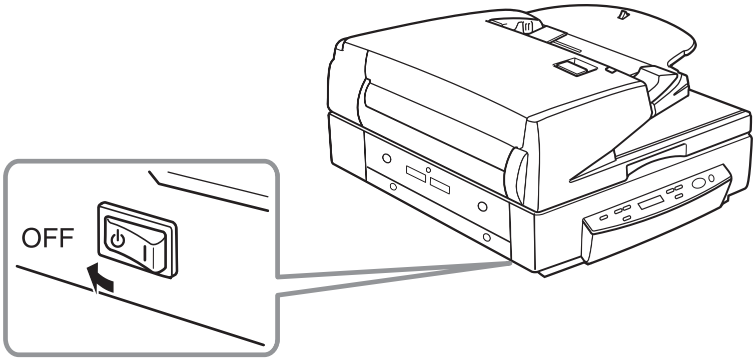
2 コンピュータの電源を ON にします。

第2章

電源の OFF

1 コンピュータ本体の電源を OFF にします。

2 スキャナの電源スイッチを押して電源を OFF にします。



電源スイッチ

お願い

SCSI 接続の場合、コンピュータの電源を先に OFF にしてください。

注意

- スキャナの電源を再度ONにする場合は、10秒以上待ってから行ってください。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

第 3 章

ソフトウエアのセットアップ

ここでは、本スキャナに同梱されている ISIS/TWAIN ドライバと CapturePerfect、ジョブ登録ツールの使用方法について説明します。

3.1 ソフトウエアについて 32
3.2 ソフトウエアの使用方法 33
ISIS/TWAIN ドライバのヘルプの表示方法 33
CapturePerfect の起動方法 34
JOB 登録ツールの起動方法 35
3.3 ソフトウエアのアンインストール 37

3.1 ソフトウエアについて

本スキャナに同梱されているセットアップディスクには次のソフトウエアが同梱されています。ソフトウエアをインストールする前に、必ずセットアップディスク内のReadme_J.txt ファイルを開いて内容を確認してください。

● ISIS/TWAIN ドライバ

本機を使用してISIS互換アプリケーションソフトウェアまたはTWAIN互換アプリケーションソフトウェアで読み取りを行うためのドライバです。本機を使用するためには必ずインストールする必要があります。

● CapturePerfect

画像取り込み用のISIS互換アプリケーションです。必要に応じてインストールして使用します。

● JOB 登録ツール

ジョブ機能で使用するジョブを登録するためのTWAIN互換アプリケーションです。ジョブ機能を使用する場合にインストールして使用します。ただし、接続されているコンピュータのOSが、Windows NTの場合、ジョブ機能は使用できませんので、ジョブ機能を使用する場合はWindows NT以外のOSでお使いください。（→ P.19「ジョブ機能について」）

お願い

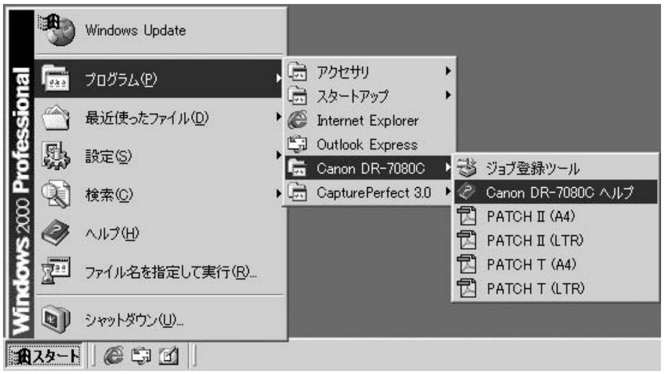
- ● CapturePerfect およびジョブ登録ツールは、TWAIN ドライバを使用します。ISIS/TWAINドライバのインストールは、必ずCapturePerfectおよびジョブ登録ツールのインストールの前に行なってください。
- ● 同梱されている ISIS/TWAIN ドライバは、すべての ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたはTWAIN互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳しくはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。
- ● アプリケーションソフトウェアによっては、本書に記載されている機能が使用できないことがあります。

3.2 ソフトウエアの使用方法

ここでは、本スキャナを使用するためのISIS/TWAINドライバのヘルプの表示方法と、CapturePerfect 3.0とジョブ登録ツールの起動方法について説明します。使用方法についてはそれぞれ用意されているヘルプをお読みください。

ISIS/TWAINドライバのヘルプの表示方法

ISIS/TWAINドライバの使用方法については、ISIS/TWAINドライバのヘルプファイルに記載されています。ヘルプファイルを参照するには、[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム] - [Canon DR-7080C] - [Canon DR-7080Cヘルプ]をクリックしてください。

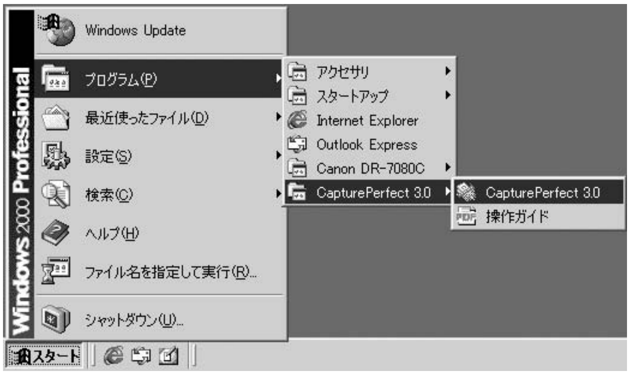


CapturePerfectの起動方法

ここではCapturePerfect 3.0の起動と終了の手順について説明します。
CapturePerfect 3.0の使用方法については、CapturePerfect 3.0操作ガイドを参照してください。

1 [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム] - [CapturePerfect 3.0] - [CapturePerfect 3.0]をクリックします。

Windows XPの場合は、[すべてのプログラム] - [CapturePerfect 3.0] - [CapturePerfect 3.0]をクリックします。



2 CapturePerfect 3.0が起動します。



3 メニューバーの[ファイル]メニューから、[アプリケーションの終了]を選択します。



JOB 登録ツールの起動方法

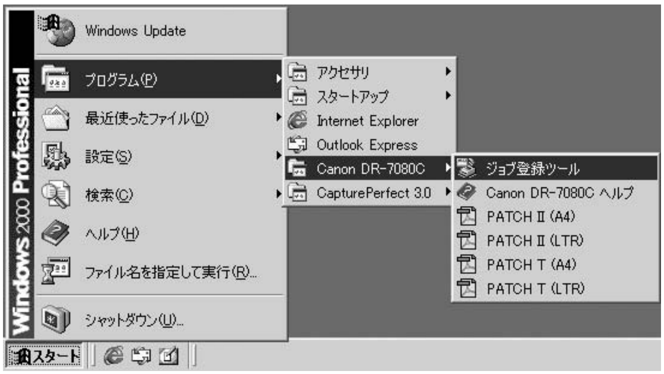
ここではジョブ登録ツールの起動と終了の手順について説明します。ジョブ登録ツールの使用方法については、ジョブ登録ツールの［ヘルプ］を参照してください。また、ジョブ機能によるスキャン手順については、 51 ページ「ジョブ機能によるスキャン」を参照してください。

お願い

- **Windows 2000 Professional、Windows XP を使用している場合は、必ず Administrator 権限でログオンしてください。**
- **Windows NTの場合、ジョブ機能は使用できません。ジョブ機能を使用する場合は Windows NT 以外の OS でお使いください。**

1 [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム] - [DR-7080C]- [ジョブ登録ツール]をクリックします。

Windows XPの場合は、［すべてのプログラム］- [DR-7080C]- [ジョブ登録ツール] をクリックします。



2 ジョブ登録ツールが起動します。



メモ

- ジョブ登録ツールの使用方法については、ジョブ登録ツールのヘルプに書かれています。[ヘルプ]ボタンをクリックするとヘルプが起動するので、使用方法を参照してください。
- 本書の最後のページに「ジョブタイトル控え」が用意されています。ジョブ登録ツールで登録したジョブの控えにお使いください。

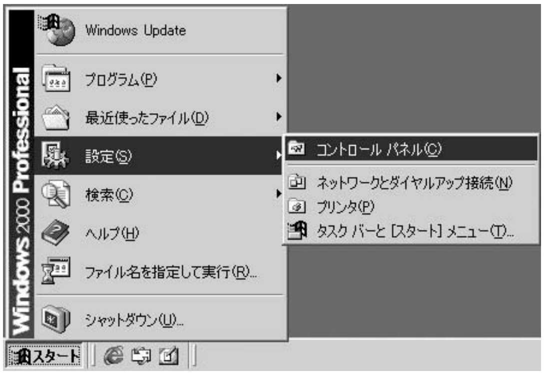
3.3 ソフトウエアのアンインストール

ソフトウエアのアンインストールの手順について説明します。

お願い

● Windows NT 4.0 Workstation、Windows 2000 Professional、Windows XP を使用している場合は、必ず Administrator 権限でログオンしてください。
● Windows XPを使用している場合、ボタンやダイアログの名称が本書で説明している名称と異なります。Windows XPの「ヘルプとサポートセンター」を参照してソフトウエアのアンインストールを行ってください。

1 [スタート]ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル]をクリックします。



2 [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。



[アプリケーションの追加と削除]ダイアログボックスが表示されます。

第3章

3 プログラムの一覧から、削除するアプリケーションを選択し、[変更/削除]ボタンをクリックします。



4 選択したアプリケーションの[ファイルの削除の確認]ダイアログボックスが表示されます。



[「Canon DR-7080C Driver」を選択した場合]

5 [はい]ボタンをクリックすると、アンインストーラが起動します。

画面の指示に従って、アンインストールを完了させます。

第 4 章

スキャナの使用方法

ここでは、本スキャナで扱える原稿についての注意事項と、原稿を給紙してスキャンする操作について説明します。

4.1 原稿について 40
原稿の種類 40
原稿の積載量 41
4.2 原稿をセットする 42
フィーダへの原稿のセットについて 42
フラットベットへの原稿のセットについて 44
4.3 給紙方法とスキャン手順 47
給紙方法について 47
◆標準給紙 48
◆パネル給紙 49
◆自動給紙 50
4.4 その他のスキャン方法 51
ジョブ機能によるスキャン 51
◆イベント機能の設定 52
カウントオンリーモード 55
パッチコードシートの利用 56
◆パッチコードシートについて 56
◆パッチコードパターンの種類 56
◆パッチコードシートの使い方 57

4.1 原稿について

ここでは、フィーダにセットできる原稿の種類について説明します。

> **注意** **原稿は慎重に取り扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。**

原稿の種類

フィーダ部に給紙できる原稿のサイズは次のとおりです。

幅　：　139.7 ～ 304.8mm

長さ　：　128 ～ 432mm（通常モード）
128 ～ 630mm（長尺モード）
128 ～ 540mm（長尺モード・カラー 600dpi で読み取る場合）

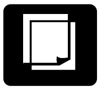
厚さ　：　白黒原稿の場合
・片面原稿　42 ～ 128g/m^2 (0.06 ～ 0.15mm)
・両面原稿　50 ～ 128g/m^2 (0.07 ～ 0.15mm)
・白黒 / カラー原稿混載時　50 ～ 128g/m^2 (0.07 ～ 0.15mm)
カラー原稿の場合
・64 ～ 128g/m^2 (0.08 ～ 0.15mm)

スキャンする原稿によっては、次のような注意が必要です。

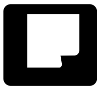
- 長尺紙をスキャンする場合は、ユーザーモードで「チョウジャクモード」を［オン］にしてスキャンしてください。(→ P.60「ユーザーモードについて」)
- インクが乾いていない原稿をスキャンすると、内部が汚れたりつまったりして故障の原因になります。必ず乾かしてからスキャンしてください。
- 鉛筆などで書かれた原稿をスキャンすると、鉛筆の文字が消えたり、ローラーが汚れて他の原稿を汚したりすることがあります。このような原稿の場合は、複写機でコピーしたものをスキャンしてください。万一、このような原稿をスキャンした場合には、スキャンしたあとにローラーの清掃を必ず行ってください。(→ P.82「フィーダ部の清掃」)
- 薄い紙の両面原稿をスキャンすると裏うつりすることがあります。読み取り明るさを調整してください。
- すべりが悪い原稿をスキャンすると、摩擦で搬送エラーが起こることがあります。
その場合は、読み取り面の設定を「フラットベッド」にし、1 枚ずつスキャンしてください。
- 感圧紙の束をスキャンするときは、原稿をよくさばいてからスキャンしてください。また、搬送エラーが起こる場合は、読み取り面の設定を「フラットベッド」にし、1 枚ずつスキャンしてください。

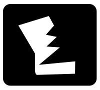
●次のような原稿をスキャンすると、紙づまりや原稿の破損、およびスキャナの故障の原因になりますので注意してください。このような原稿の場合は、フラットベットで1枚ずつスキャンしてください。


しわや折り目が入っている。

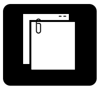

裏カーボン紙。

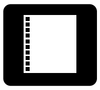

カール（巻き付け）がある。


表面がコーティングされている。


破れている。


極端に薄い。


クリップやステイプルの針が付いている。


綴じ穴がある。

メモ

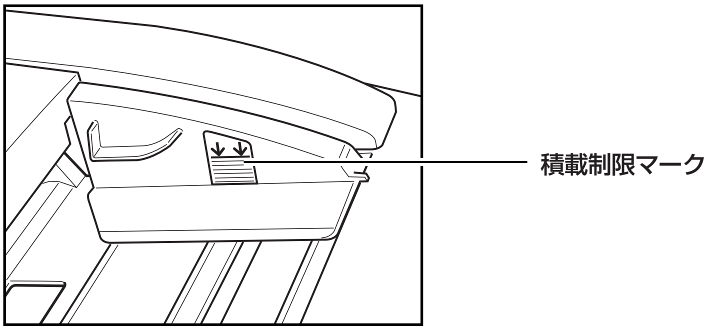
- 紙厚、サイズの異なる原稿を混載した場合、搬送に支障をきたすこともありますので、ご注意ください。
- 原稿の端から5mm以内に文字・絵がある場合や、地色のついた原稿の場合、斜行補正・自動サイズ検知の誤検知が発生することがあります。

原稿の積載量

フィーダ部に給紙できる原稿のサイズは次のとおりです。

●フィーダ部の積載制限マークの位置以上に原稿をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

●フィーダ部に原稿をセットできる枚数はA4サイズの一般的なコピー用紙（80g/m²）で約100枚です。



4.2 原稿をセットする

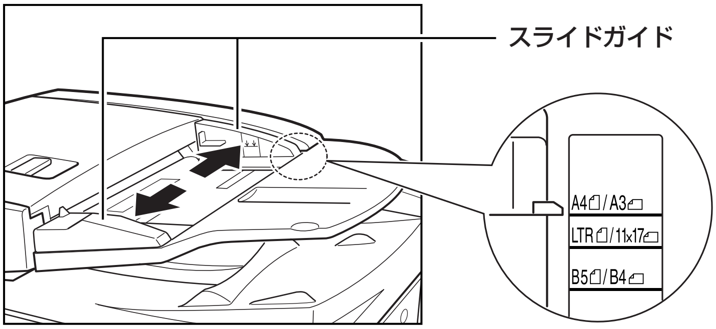
ここでは、フィーダおよびフラットベットへの原稿のセットについて説明します。

> **注意**
> **原稿は慎重に取り扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。**

フィーダへの原稿のセットについて

原稿をフィーダ部にセットする場合、次の手順で行ないます。

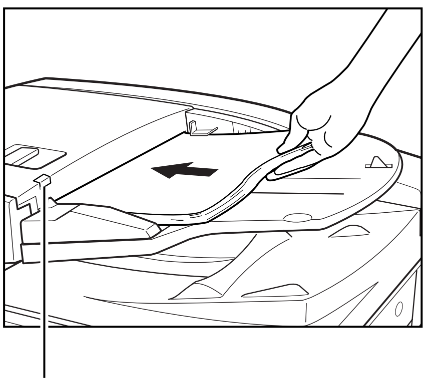
1 スライドガイドの凸部を原稿サイズラベルの位置に合わせます。



> **お願い**
> **スライドガイドは必ず左右のガイドを両手で操作してください。片方のガイドだけで操作した場合、故障の原因になります。**

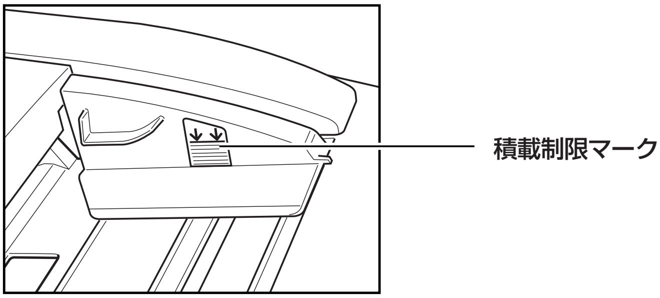
2 原稿をそろえ、読み込む面を上向きにして原稿給紙トレイの上にセットします。

原稿は、原稿セット表示が点灯するまで奥までつき当ててください。

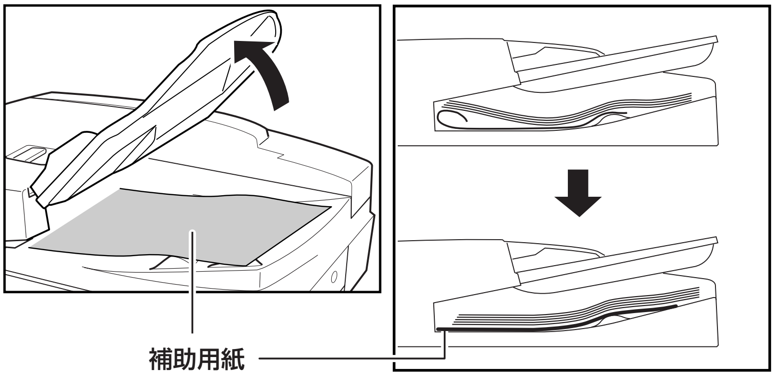


お願い

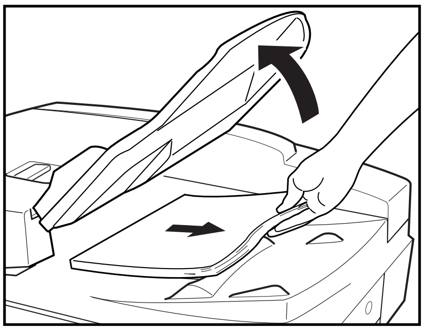
- フィーダ部の積載制限マークの位置以上に原稿をセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- フィーダ部に原稿をセットできる枚数は A4 サイズの一般的なコピー用紙（80g/m²）で約 100 枚です。



- A3などの大きいサイズの感圧紙や非常に紙厚の薄い原稿の場合、まれに排紙部で原稿が引っ掛かり、丸まることがあります。このようなときは、あらかじめ排紙トレイに紙（補助用紙）を置いて、読み取りを行なってください。



3 読み取りが終了したら給紙トレイを持ち上げて原稿を取り除きます。



お願い

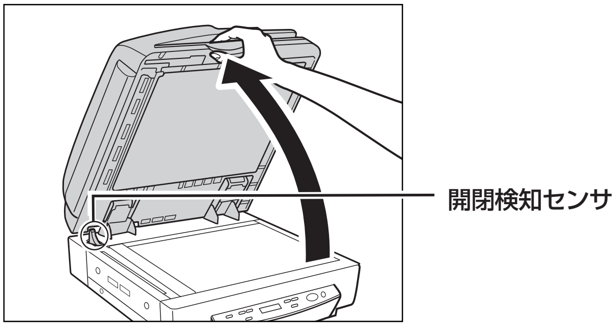
- 読み込みが終了した原稿は、順次排紙トレイから取り除いてください。排紙トレイに原稿を残したまま次の原稿を読み取ると、紙づまりの原因になります。
- 給紙トレイは必要以上に持ち上げないでください。無理に持ち上げると破損の原因になります。

第4章

フラットベットへの原稿のセットについて

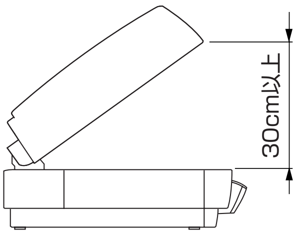
ブック原稿や厚手の原稿、薄手の原稿、OHPフィルムなどフィーダ部でスキャンできない原稿を読み込む場合は、フラットベットに原稿をセットしてスキャンします。

1 フィーダを開きます。

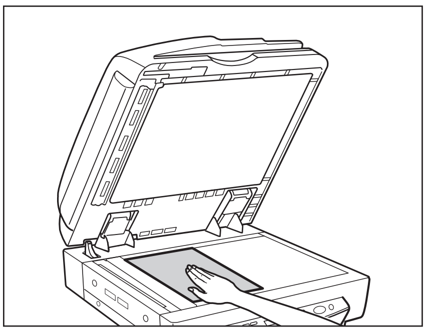


お願い

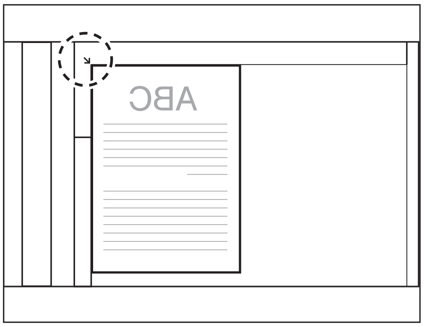
- フィーダはスキャナ本体が後方に倒れないように静かに開いてください。けがの原因になることがあります。
- 本機にはフィーダの開閉検知センサが装着されています。原稿台ガラスに原稿をセットする場合には、フィーダをセンサから離れる位置まで（約30cm）開いてください。



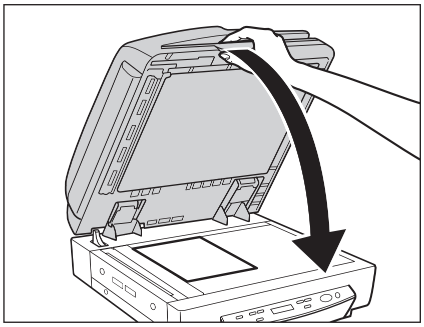
2 読み込む面を下にして、原稿をセットします。



原稿は読み込む面を下にして、原稿台ガラス面の左奥（矢印マーク）に原稿の角を合わせてセットします。



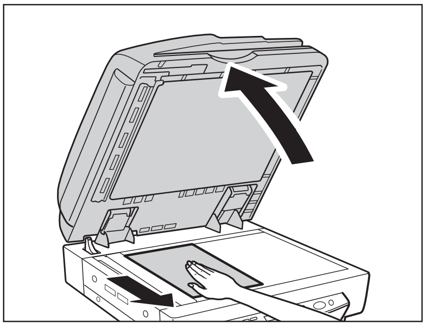
3 フィーダを静かに閉じます。



注意

- フィーダは手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
- 厚いブック原稿などをフィーダで強く押さないでください。原稿台ガラスが破損して、負傷する恐れがあります。

4 フィーダを開き、読み取りが終了した原稿を原稿台から取り除きます。



お願い

フィーダはスキャナ本体が後方に倒れないように静かに開いてください。けがの原因になることがあります。

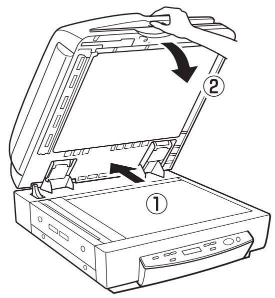
第4章

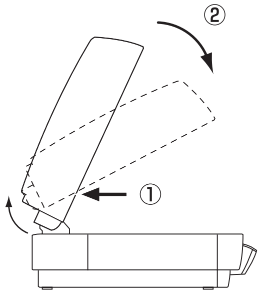
メモ

厚いブック原稿などを原稿台ガラスにセットするときは、フィーダを開いたままスキャンを行なうか、以下の手順でフィーダを操作してください。

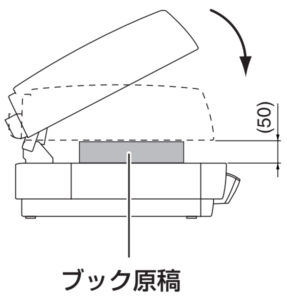
(1) フィーダ開きます。

(2) フィーダの下部を手で押し込みながら ①、フィーダを手前に倒します。②

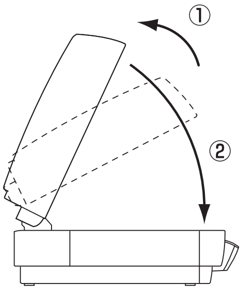




(3) ブック原稿をセットして、フィーダを手で押さえながらスキャンします。



(3) フィーダを元に戻す場合は、フィーダをいっぱいに開き ①、そのまま静かに閉じます。②



4.3 給紙方法とスキャン手順

ここでは、給紙方法の違いによる基本的なスキャンの手順について説明します。

注意

- スキャナを操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など操作中のスキャナに引っ掛かりそうなものを身につけないでください。スキャナに巻き込まれてけがの原因になることがあります。とくにネクタイや長い髪などはご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて機械を停止してください。
- 原稿をセットする前に、クリップやステイプルの針などが紛れ込んでいないかどうか必ず確認してください。万一紛れ込んでいると、原稿の破損、紙づまり、スキャナの故障の原因になります。
- スキャン中は、フィーダカバーにてを触れないでください。原稿の破損、紙づまり、スキャナの故障の原因になります。

給紙方法について

給紙方法には以下の３種類があり、ISIS/TWAIN ドライバの「給紙オプション」で選択します。原稿をスキャンする手順は、給紙方法によって異なります。

●標準給紙（→ P.48）

スキャンの開始／終了をアプリケーションから指示する給紙方法です。
原稿をセットした状態で、コンピュータからスキャン開始の指示をするとスキャンが始まります。

●パネル給紙（→ P.49）

フィーダで原稿を続けてスキャンする場合や、ブック原稿などを１枚ずつめくりながらスキャンするときなどに便利な給紙方法で、原稿をセットしたらスキャナ本体のスタートキーを押してスキャンを開始します。
原稿のスキャンが終わったら、次の原稿をセットしてスタートキーを押すと、スキャンが継続されます。

●自動給紙（→ P.50）

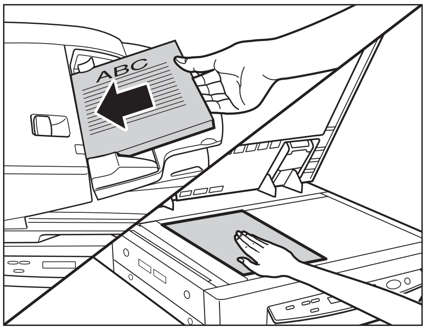
フィーダで原稿の束を続けてスキャンする場合などに便利な給紙方法で、給紙トレイに置かれた原稿をスキャナが検知すると自動的にスキャンが開始されます。
原稿台の原稿が無くなるとスキャンが中断し、次の原稿の束をセットするとスキャンが継続されます。

◆標準給紙

標準給紙では、スキャンの開始／終了をアプリケーションからの指示で行ないます。

1 ISIS/TWAIN ドライバの設定画面で、給紙オプションを[標準給紙]に設定します。

2 原稿をセットします。（→ P.42「原稿をセットする」）



お願い

原稿のセット方法については P.42「原稿をセットする」を参照してください。

3 アプリケーションでスキャン開始の指示をします。

⇨ スキャンが始まります。

4 原稿をスキャンするとアプリケーションが待機状態になります。

メモ

読み取り中に、システムエラーまたは紙づまりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み込み作業を続けてください。

5 さらに原稿がある場合は、原稿をセットして、アプリケーションでスキャン継続の指示をします。スキャンを終了する場合は、スキャン中止の指示をします。

お願い

フィーダでスキャンする場合、排紙トレイに残っている原稿を取り除いてからスキャンを行なってください。排紙トレイに原稿を残したまま次の原稿を読み取ると、紙づまりの原因になります。

◆パネル給紙

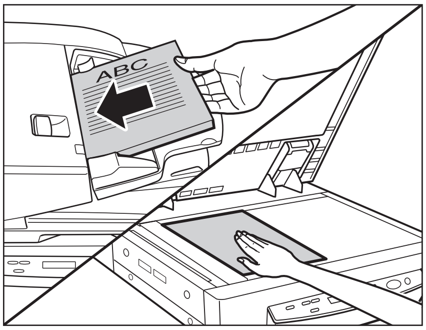
パネル給紙では、アプリケーションでスキャンの開始を指示した後、スキャナのスタート/ストップキーによりスキャンを行います。

1 ISIS/TWAIN ドライバの設定画面で、給紙オプションを[パネルで給紙]に設定します。

2 アプリケーションでスキャン開始の指示をします。

⇨ スタートキーのランプが緑になります。

3 原稿をセットします。(→ P.42「原稿をセットする」)



お願い

原稿のセット方法については P.42「原稿をセットする」を参照してください。

4 スタートキーを押します。

5 原稿をスキャンすると待機状態になります。

メモ

読み取り中に、システムエラーまたは紙づまりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み込み作業を続けてください。

6 残りの原稿がある場合は、原稿をセットして、スタートキーを押します。スキャンを終了する場合は、ストップキーを押します。

お願い

フィーダでスキャンする場合、排紙トレイに残っている原稿を取り除いてからスキャンを行なってください。排紙トレイに原稿を残したまま次の原稿を読み取ると、紙づまりの原因になります。

◆自動給紙

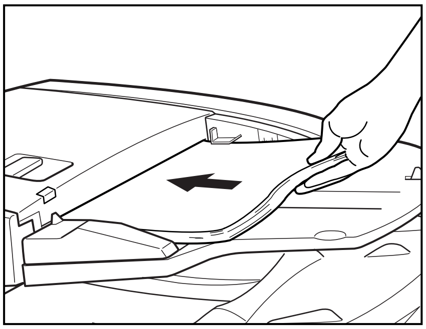
自動給紙は、フィーダ部でスキャンする場合に選択でき、アプリケーションでスキャンの開始を指示した後、スキャナが原稿のセットを検知するとスキャンがスタートします。

1 ISIS/TWAIN ドライバの設定画面で、給紙オプションを[自動給紙]に設定します。

2 アプリケーションでスキャン開始の指示をします。

⇨ スタートキーのランプが緑になります。

3 原稿をセットします。（→ P.42「原稿をセットする」）



⇨ スキャナが原稿を検知して、スキャンが始まります。

お願い

原稿のセット方法については P.42「原稿をセットする」を参照してください。

4 原稿をすべてスキャンすると待機状態になります。

5 給紙トレイを持ち上げてスキャンした原稿を取り除きます。

お願い

フィーダでスキャンする場合、排紙トレイに残っている原稿を取り除いてからスキャンを行なってください。排紙トレイに原稿を残したまま次の原稿を読み取ると、紙づまりの原因になります。

6 原稿を続けてセットすると、自動的にスキャンが再開されます。スキャンを終了する場合は、ストップキーを押します。

4.4 その他のスキャン方法

ここでは、ジョブ機能によるスキャン手順や、原稿の搬送を行い枚数をカウントするカウントオンリモード、自動バッチ区切りを行うためのパッチコードシートについて説明します。

ジョブ機能によるスキャン

ジョブ機能によるスキャン手順について説明します。

お願い

Windows NT の場合、ジョブ機能は使用できません。ジョブ機能を使用する場合は Windows NT 以外の OS でお使いください。

1 イベント機能を設定します。（→ P.52「イベント機能の設定」）

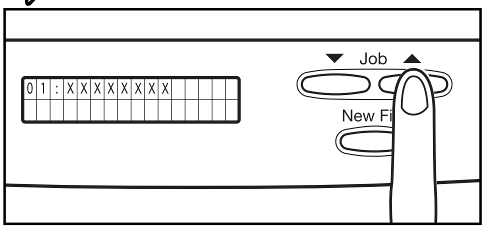
2 ジョブ登録ツールでジョブを登録します。（→ P.35「JOB 登録ツールの起動方法」）

メモ

ジョブ登録ツールの登録方法についてはジョブ登録ツールのヘルプを参照してください。

3 [Job]キー（▲）を押して「ジョブモード」にします。

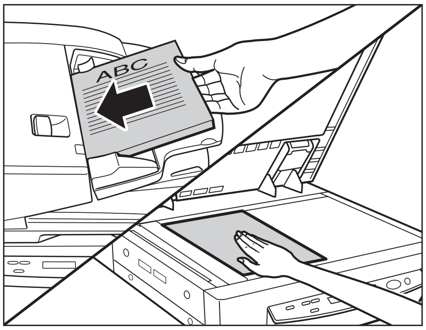
⇨ 表示パネルにジョブ No. が表示されます。



4 [Job]キー（▲, ▼）を押してジョブ No.（01 ～ 99）を選択します。

第4章

5 原稿をセットします。



お願い

原稿のセット方法については P.42「原稿をセットする」を参照してください。

6 [Start]キーを押します。

⇨ 選択したジョブにしたがって画像ファイルが転送されます。

7 原稿のスキャンが終わったら、[Stop]キーを押して「ジョブモード」を解除します。

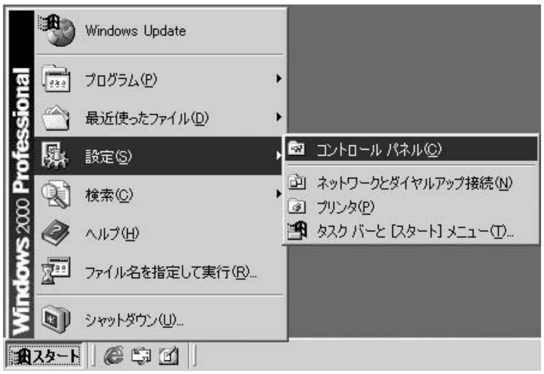
メモ

ジョブモードが正常に動作しない場合、75ページ「こんなときは」を参照してください。

◆イベント機能の設定

ジョブ機能は、スキャナのイベント機能で[DR7080C Job Tool]が指定されていないと機能しません。ジョブ機能を使用する前に、以下の手順でスキャナのイベントの設定を行なってください。

1 [スタート]ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル]をクリックします。



2 [スキャナとカメラ]をダブルクリックします。



[スキャナとカメラ]のダイアログボックスが表示されます。

メモ

> 表示されるダイアログボックスは、Windows によって異なります。

3 [Canon DR-7080C]を選択し、[プロパティ] を表示します。



4 [イベント]タブをクリックします。



5 ［スキャナイベント］を［Job Start Button］にします。



6 ［次のアプリケーションに送る］で［DR7080C Job Tool］以外のチェックを全てはずします。

7 ［適用］ボタンをクリックします。

お願い

「デバイスのイベントを実行しない」チェックボックスをチェックすると、ジョブ機能が使用できなくなりますので注意してください。

8 ［OK］ボタンをクリックします。

9 Windows を再起動します。

カウントオンリーモード

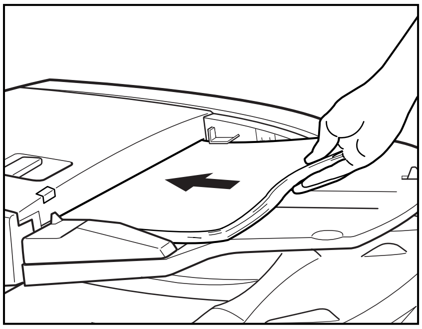
カウントオンリモードはフィーダで原稿の搬送のみを行い、搬送した原稿の枚数を数えるモードです。このモードでは、原稿の読み取りは行ないません。また、スキャナのみで動作させることができます。

1 ユーザーモードでスキャナを「カウントオンリーモード」に設定します。(→ P.62「ユーザーモードの設定方法」)

カ	ウ	ン	ト		オ	ン	リ	ー		モ	ー	ド			
											0	0	0	0	0

⇨ スタートキーのランプが緑になります。

2 フィーダに原稿をセットし、スタートキーを押します。



⇨ 原稿が送られ、カウントした枚数がカウンタ表示部に表示されます。

3 原稿のカウントが終わったら、「カウントオンリモード」を解除します。(→ P.62「ユーザーモードの設定方法」)

カウンタ表示部の枚数表示をクリアするときは、ストップキーを2秒間以上押してください。

第4章

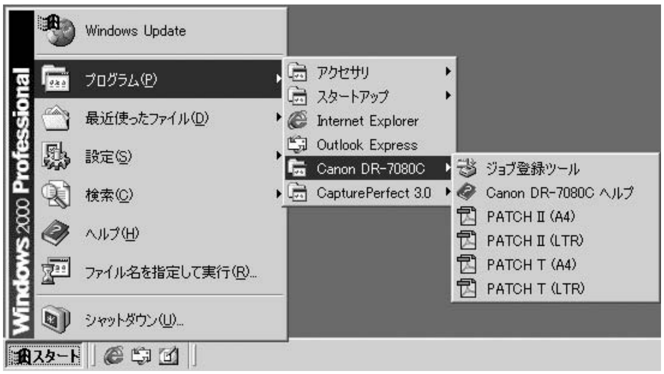
パッチコードシートの利用

パッチコードシートはスキャニングを中断することなくファイルを区切るために利用する特殊なパターンを印刷したシートです。このシートがスキャナから読み込まれてパターンが認識されると、シートはパッチコードシートとして機能し、ファイル区切りを行います。

メモ
- パッチコードシートの使用に際しては、「ISIS/TWAIN Driver ヘルプ」と合わせてごらんください。
- パッチコードシートはお使いのアプリケーションがファイル区切りをサポートしている場合にのみ有効です。

◆パッチコードシートについて

パッチコードシートは、PDF(Portable Document Format)形式のデータで、[PATCH Ⅱ (A4)], [PATCH Ⅱ (LTR)], [PATCH T (A4)], [PATCH T (LTR)]の４種類用意されてます。Windowsのスタートボタンをクリックし、[プログラム] - [Canon DR-7080C] - [PATCH X(XX)] を開き、プリンタで印刷したものを使用します。

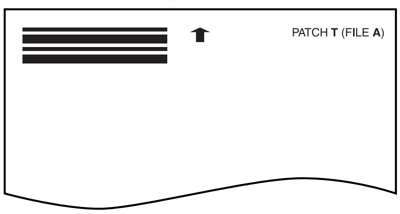


メモ
パッチコードシートを開く場合には、CapturePerfect または PDF(Portable Document Format)形式のファイルに関連付けされたアプリケーションが必要です。

◆パッチコードパターンの種類

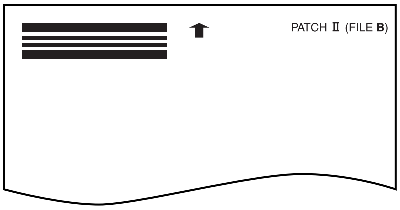
パッチコードパターンには次の２種類があり、パターンによって検知した後の動作が変わります。

- PATCH T (FILE A)



このシートを認識したときは、このシートの次の原稿からファイル区切りを行います。

● PATCH Ⅱ(FILE B)



このシートを認識したときは、このシートからファイル区切りを行います。但し、パッチコード認識の設定で、このシートを画像として記録しないように設定した場合でも設定は無視されて、このシートも画像として記録されます。

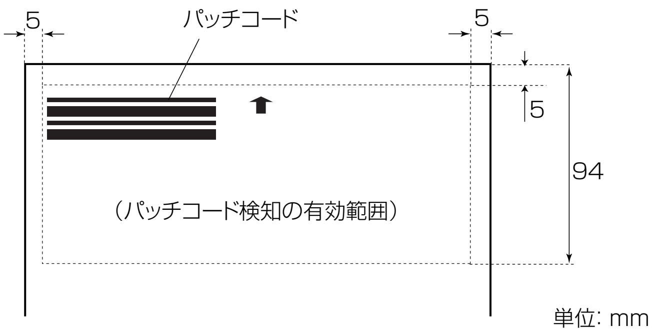
◆パッチコードシートの使い方

1 パッチコードシートをプリンタで印刷します。このとき、パッチコードシート のデータと同じサイズの用紙に印刷してください。

- [PATCH Ⅱ（A4)], [PATCH T（A4)]は、A4 サイズの用紙に印刷
- [PATCH Ⅱ（LTR)], [PATCH T（LTR)]は、レターサイズの用紙に印刷

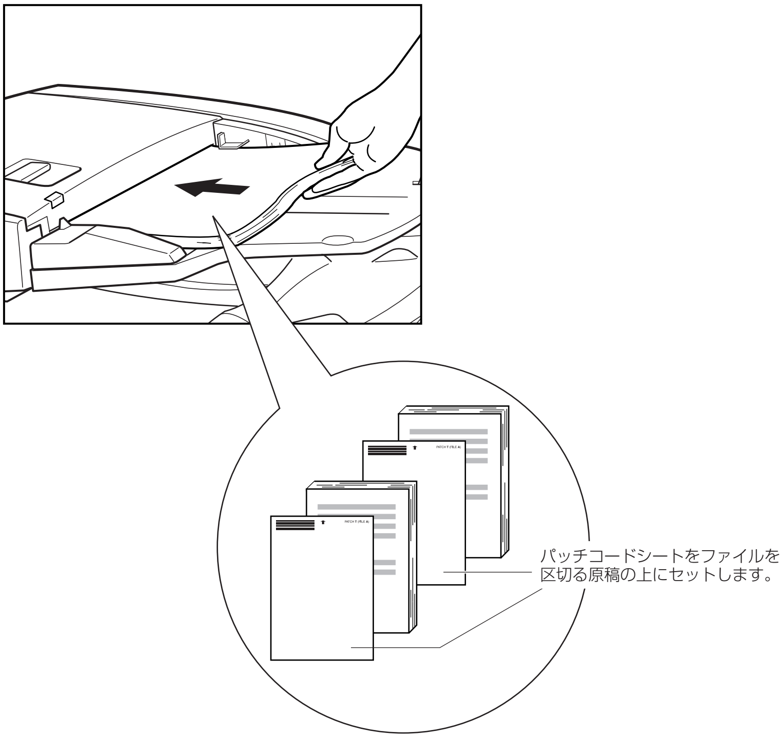


- パッチコードパターンは、以下の有効範囲内にあるときに検知されます。パッチコードシートをコピーするときは、パッチコードシートのパターンがパターンを検知する有効範囲内に来るように調整してください。



- パッチコードシートをコピーするときは、コピーしたものがオリジナルのシートと同サイズ、同濃度となるようにしてください。コピーの濃度が薄すぎるまたは濃すぎると正しく読み取れないことがあります。
- パッチコードシートは汚さないように注意してください。特にパターンを検知する有効範囲内を汚さないようにしてください。また、折り曲げたり、しわにならないようにしてください。正しく読み取ることができなくなります。
- パッチコードシート読み取り時の濃度が薄すぎるまたは濃すぎると正しく読み取れないことがあります。

2 パッチコードシートをファイルを区切る原稿の前にセットしてから読み込ませます。



3 スキャン条件を設定しスキャンを開始します。

第 5 章

ユーザーモード

ここでは、ユーザが設定を変更可能なユーザーモードについて説明します。

5.1 ユーザーモードについて 60
ユーザーモードの機能 60
ユーザーモードの設定方法 62

5.1 ユーザーモードについて

本スキャナでは、以下の 各モードについて、ユーザで設定することができます。

ユーザーモードの機能

ユーザーモードには以下の機能があります。

●カウントオンリーモード

カ	ウ	ン	ト		オ	ン	リ	ー		モ	ー	ト	゛		
				O	N			[	O	F	F	]			

[ON] :　カウントオンリモードにします。(→ P.55「カウントオンリーモード」)
[OFF] :　通常モードです。(出荷時の設定)

●長尺モード

チ	ョ	ウ	シ	゛	ャ	ク		モ	ー	ト	゛				
				O	N			[	O	F	F	]			

[ON] :　用紙サイズを自動検知にしたときに最大630mmまでの長さの原稿を検知します(→ P.40「原稿について」)
[OFF] :　用紙サイズを自動検知にしたときに432mmまでの長さの原稿を検知します(出荷時の設定)

お願い

長尺モードを使用する場合、以下の点について注意してください。
- ● 長尺モードを設定してスキャンした場合、処理速度が遅くなる場合があります。
- ● 長尺モードを使用する場合、原稿が傾いてセットされるとスキャナの給紙部の両端に当たり原稿を破損する場合があります。原稿の傾きには充分注意してください。
- ● 長尺モードを使用する場合、紙詰まりの検知が遅れ原稿を破損する場合があります。紙詰まりには充分注意してください。

●省電力モード

ス	リ	ー	フ	゜		モ	ー	ト	゛						
			[	O	N	]			O	F	F				

[ON] :　10分間操作しない時に省電力モードに移行します(出荷時の設定)
[OFF] :　省電力モードへ移行しない

●表示言語の変更

ニ	ホ	ン	コ	゛		(	J	a	p	a	n	e	s	e	)
			[	O	N	]			O	F	F				

[ON]：　表示パネルを日本語で表示します。（出荷時の設定）
[OFF]：　表示パネルを英語で表示します。

●画面コントラストの調整

カ	゛	メ	ン		コ	ン	ト	ラ	ス	ト					
			<	-	-	-	-	■	-	-	-	>			

[Set]キーで■を右に動かすと表示パネルが明るくなり、左に動かすと暗くなります。

● SCSI 転送速度の設定

S	C	S	I		テ	ン	ソ	ウ		ソ	ク	ト	゛		
			5				1	0		[	2	0	]		

SCSI インタフェースの同期転送速度の最大値を設定します。
[5]：　5MByte/sec.
[10]：　10MByte/sec（First SCSI）
[20]：　20MByte/sec（Ultra SCSI）（出荷時の設定）

出荷時の設定［20MByte/sec.］でスキャナが正常に動作しない場合、転送速度を［10MByte/sec.］または［5MByte/sec.］に下げて使用してください。

● USB ショートパケットの設定

U	S	B		シ	ョ	ー	ト		ハ	゜	ケ	ッ	ト		
			[	O	N	]			O	F	F				

USB ショートパケットの設定を変更します。（出荷時の設定：ON）
コンピュータに標準装備されているUSBインターフェースでスキャナが正常に動作しない場合、ショートパケットの設定を［OFF］にして使用してください。

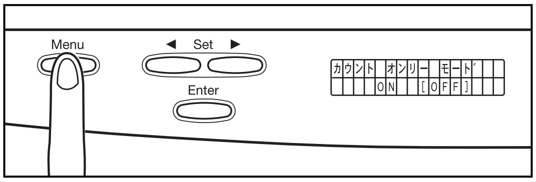
お願い

SCSI転送速度、USBショートパケットの設定を変更した場合には、スキャナ本体の電源を入れ直してください。

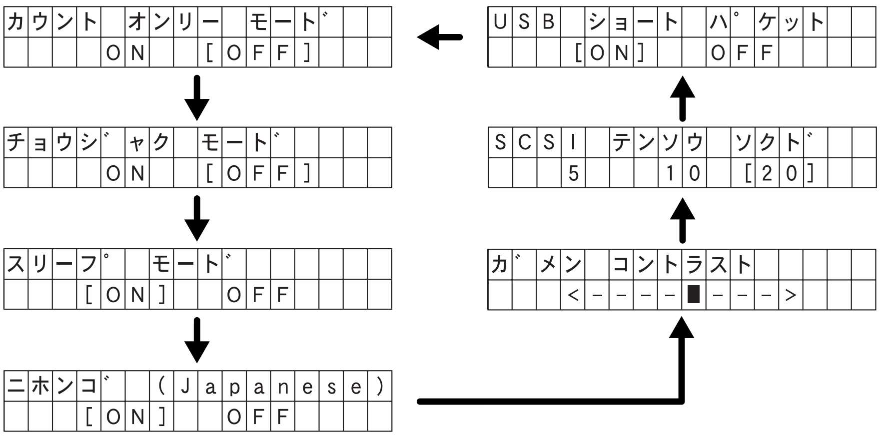
ユーザーモードの設定方法

ユーザーモードは操作キーを以下のように押して設定します。

1 [Menu]キーを押してユーザーモードを表示させます。



⇨ [Menu]キーを繰り返し押すと、ユーザーモードが切り替わります。



2 [Set]キー（◀、▶）を押して設定を変更します。

3 [Enter]キーを押して確定させます。

4 設定が完了したら[Stop]キーを押してユーザーモードを終了します。

第 6 章

困ったときは

ここでは、トラブルが発生したときの原因と対処方法について説明します。

6.1 スキャナが認識されないとき 64
SCSI 接続の場合 64
USB 接続の場合 66
6.2 用紙がつまったとき 67
紙づまりの処理 67
紙づまりの原因 70
6.3 スキャン結果がおかしいとき 71
6.4 メッセージが表示されるとき 72
エラーメッセージ 72
スキャナの状態表示 74
6.5 こんなときは 75

6.1 スキャナが認識されないとき

コンピュータがスキャナを認識しない場合は、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

SCSI 接続の場合

原因　**スキャナが正しく接続されていない**

対処方法　スキャナを SCSI ケーブルで正しく接続してください。（→ P.25）

原因　**SCSI カードが正しく認識されていない**

対処方法　SCSI カードのマニュアルを参照して、SCSI カードを正しく取り付けてください。また、使用している OS に応じて次の確認をしてください。

＜ Windows 98、または Windows Me ＞

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[デバイスマネージャ]で「SCSI コントローラ」に「×」や「!」が表示されていないか確認してください。表示されているときは、SCSIカードの取扱説明書を参照して、SCSIカードの設定をし直してください。

＜ Windows NT 4.0 Workstation ＞

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[SCSIアダプタ]でSCSIカードが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されていないときは、SCSI カードの取扱説明書を参照して、SCSI カードの設定をし直してください。

＜ Windows 2000 Professional ＞

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]で「SCSI コントローラ」に「×」や「!」が表示されていないか確認してください。表示されているときは、SCSI ホストアダプタの取扱説明書を参照して、SCSI カードの設定をし直してください。

＜ Windows XP ＞

[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]で「SCSI コントローラ」に「×」や「！」が表示されていないか確認してください。表示されているときは、SCSIカ―hXの取扱説明書を参照して、SCSIカードの設定をし直してください。

原因	**他の SCSI 機器と SCSI-ID が重複している**
対処方法	接続しているすべての SCSI 機器の SCSI-ID を確認し、重複しないように SCSI-ID を設定し直してください。（→ P.26）
原因	**ターミネータが正しく接続されていない**
対処方法	デイジーチェーンの終端に接続するSCSI機器にターミネータを接続してください。ターミネータ機能を内蔵するSCSI機器の場合はターミネータ機能を有効にしてください。（→ P.26）
原因	**スキャナの電源をコンピュータより後から ON にした**
対処方法	コンピュータとスキャナの電源を OFF にし、スキャナの電源を ON にしてから、コンピュータの電源を ON にしてください。（→ P.29）
原因	**スキャナの電源が OFF になっている**
対処方法	コンピュータの電源を OFF にし、スキャナの電源を ON にしてから、コンピュータの電源を ON にしてください。（→ P.29）
原因	**スキャナの電源コードがスキャナまたは AC コンセントから抜けている**
対処方法	コンピュータの電源を OFF にし、スキャナの電源コードを正しく接続してください。そのあと、スキャナの電源を ON にしてから、コンピュータの電源を ON にしてください。（→ P.28）
原因	**SCSI カードがスキャナに対応していない**
対処方法	ドライバ・アプリケーションに対応した SCSI カードを使用してください。(→ P.22)

第6章

USB 接続の場合

原因	**スキャナが正しく接続されていない。**
対処方法	スキャナを Hi-Speed USB2.0 対応ケーブルで正しく接続してください。 (→ P.24)
原因	**スキャナの電源がオフになっている。**
対処方法	コンピュータとの接続を確認し、スキャナの電源を ON にしてください。 (→ P.29)
原因	**USB2.0 インターフェースカードがスキャナに対応していない。**
対処方法	USB HUB を取り外してご使用ください。

6.2 用紙がつまったとき

フィーダでスキャン中にスキャンが停止し、表示部に以下のメッセージが表示されたときは、フィーダ内に原稿がつまっています。次の手順にしたがって、つまった用紙を取り除いてください。

カ	ミ	カ	゛		ツ	マ	リ	マ	シ	タ		x	x	x	x

メモ

紙づまりが起きるとフィーダカバーの「原稿セット表示」が点滅します。

紙づまりの処理

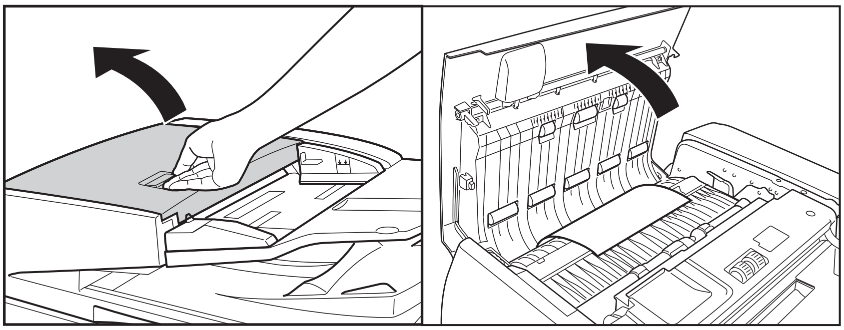
警告

- ■ 紙づまりを取り除くときは慎重に行ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。また、原稿を破損することがあります。
- ■ つまった用紙はすべて取り除いてください。破れた用紙などが機械内部に残っていると、引き続き用紙がつまったり、故障の原因になります。
- ■ フィーダを開閉するときは、手をはさまないように注意してください。

1 給紙トレイや排紙トレイに残っている原稿を取り除きます。

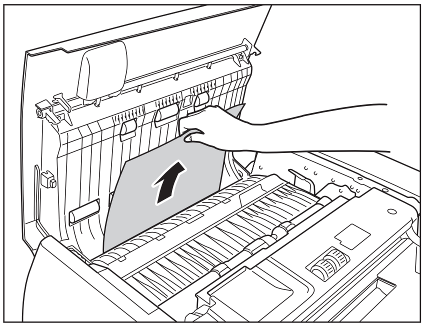
2 フィーダカバーを開きます。

開閉レバーを起こし、フィーダカバーが止まるところまでゆっくりと開きます。

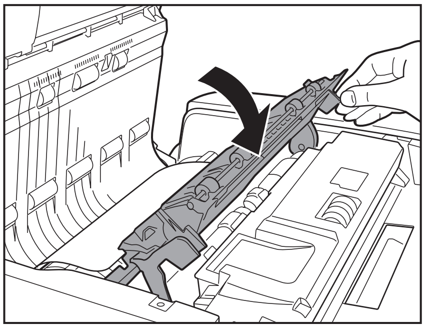


第6章

3 つまっている原稿を取り除きます。



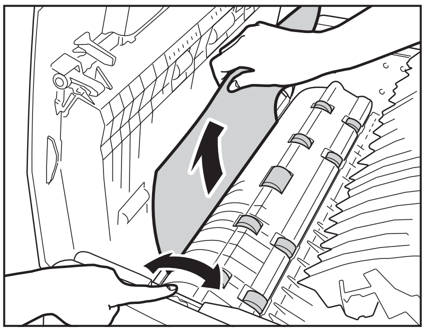
4 原稿が、搬送ガイドの下につまっている場合は、奥のつまみを持って搬送ガイドを開きます。



メモ

両面スキャンを行なった場合、搬送ガイドの下に原稿がつまることがあります。

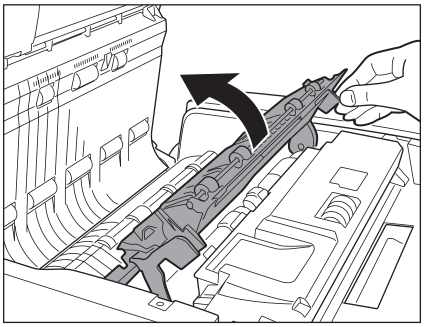
5 手前のダイヤルを回して、つまっている原稿を取り除きます。



メモ

- ダイヤルを右に回すと、つまっている原稿が上に戻されます。ダイヤルを回しながら原稿の端を持って取り除いてください。
- ダイヤルを左に回すと、つまっている原稿が排紙トレイに送られます。給紙トレイを上げて排紙トレイにある原稿を取り除いてください。

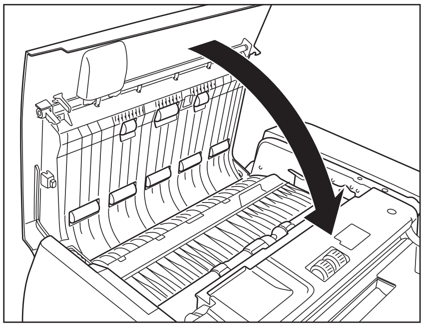
6 搬送ガイドを閉じます。



注意

搬送ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

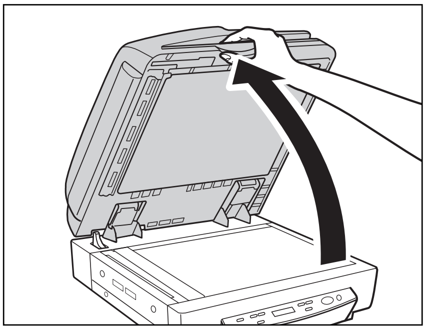
7 フィーダカバーを閉じます。



注意

フィーダカバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

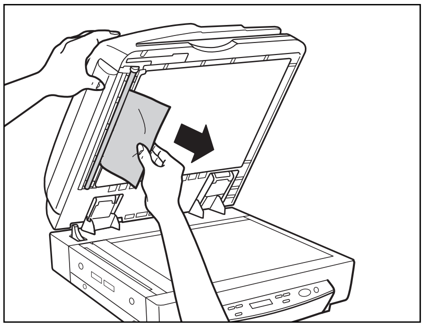
8 フィーダを開きます。



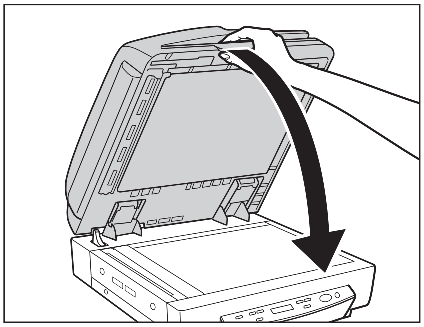
注意

フィーダはスキャナ本体が後方に倒れないように静かに開いてください。けがの原因になることがあります。

9 つまっている原稿を取り除きます。



10 フィーダを閉じます。



注意

フィーダは、手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

紙づまりの原因

フィーダ部で紙づまりが発生する原因には、次のような原因が考えられます。以下に示す方法で対処してください。

- 原稿のサイズ･紙厚が、フィーダで扱える範囲内かどうか、また原稿の紙質などが不適切でないかどうか確認してください。
  原稿についての注意事項は、40 ページ「原稿について」を参照してください。
- 原稿のすべりが悪いために給紙エラーが起きている可能性があります。フラットベットで、1 枚ずつスキャンしてください。(→ P.44)
- 本体内部のローラが汚れたり、摩耗していたりすると、紙づまりが発生します。
  ローラが汚れている場合は清掃してください。(→ P.81) ローラが摩耗している場合はローラの交換が必要ですので、担当サービスまでご連絡ください。

6.3 スキャン結果がおかしいとき

スキャン結果の画像に問題がある（画像が鮮明でなかったり、画像にすじや汚れが入ったりするなど）場合は、以下の原因が考えられます。状況を確認し、対応する処置をしてください。

●読み取りガラスやローラーが汚れている

読み取りガラスやローラーが汚れていると、スキャン結果の画像にもその汚れが出てしまいます。

→読み取りガラス、ローラーの清掃をしてください。清掃の方法については、80ページ「日常のお手入れ」を参照してください。

●スキャン条件が不適当

スキャン条件の設定が不適当だと、スキャン結果の画像が不鮮明になったり、黒ずんだ感じになったりします。

→「明るさ」などのスキャナの設定を確認してください。
スキャン結果の画像がぼやけたり、原稿が全く読み取れなかったりする場合は、「明るさ」の設定値が高すぎる可能性があります。スキャン結果の画像が黒ずんだ感じになる場合は、「明るさ」の設定値が低すぎる可能性があります。
また、ドライバや、お使いのアプリケーションの設定も確認してください。

●ドライバまたはアプリケーションが正しく動作していない

スキャン条件を調整してもまだ正しくスキャンできない場合は、ドライバまたはお使いのアプリケーションが正しく動作していない可能性があります。

→ドライバまたはお使いのアプリケーションを一度アンインストールしてから、再インストールしてください。
ドライバのインストール方法については、別紙「簡単スタートガイド」を参照してください。
お使いのアプリケーションのインストール方法については、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

●その他の原因

コンピュータがスキャナを正常に認識し、ドライバおよびアプリケーションも正しくインストールされている状態でスキャンできない場合があります。この場合は、インターフェースカードが適切でないことが考えられます。推奨のインターフェースカードをお使いください。

上記の処置をしても問題が解消されない場合は、お買い求めの販売店または担当サービスまでご連絡ください。

6.4 メッセージが表示されるとき

エラーメッセージやスキャナの状態を、表示パネルに表示します。
それぞれの対処方法は次のとおりです。

エラーメッセージ

エラーメッセージには、以下の

表示

カ	ハ	゛	ー	カ	゛		ア	イ	テ	イ	マ	ス		0	1

原因　**フィーダが開いている**

対処方法　フィーダを閉じてください。

表示

カ	ハ	゛	ー	カ	゛		ア	イ	テ	イ	マ	ス		0	2

原因　**フィーダカバーが開いている**

対処方法　フィーダカバーを閉じてください。

表示

キ	ュ	ウ	シ	ニ		シ	ッ	ハ	゜	イ	シ	マ	シ	タ	

原因　**フィーダの給紙エラー**

対処方法　原稿を確認し、やり直してください。給紙エラーが続けて表示される場合は、フラットベッドでスキャンしてください。

表示

カ	ミ	カ	゛		ツ	マ	リ	マ	シ	タ		x	x	x	x

原因　**フィーダ内で紙詰まり**

対処方法　P.67「用紙がつまったとき」を参照して、つまった原稿を取り除いてください。

表示

ソ	ウ	シ	ン		シ	ッ	ハ	゜	イ						

原因　**ジョブ機能で画像データを送信する際の送信エラー**

対処方法　ジョブ登録ツールで設定を確認し、やり直してください。

表示	コ	ン	サ	イ	ヲ		ケ	ン	チ	シ	マ	シ	タ			

原因 **読み込み中にサイズの異なる原稿を検知しました**

対処方法 排紙された原稿の表裏を確認し、原稿混載モードを［オン］にしてから、やり直してください。

表示	エ	ラ	ー						E	x	x	x	x	x	x	x

原因 **本体内部の異常（サービスコールエラー）**

対処方法 サービスマンによる修理が必要です。電源をOFFにし、お買い求めの販売店または担当サービスにエラーコード（Exxxxxxx）を連絡してください。

第6章

スキャナの状態表示

スキャナの状態によって表示パネルは以下の表示になります。

表示

シ	ハ	゛	ラ	ク		オ	マ	チ	ク	タ	゛	サ	イ	.	.

状態　スキャナが何らかの処理中です。そのままお待ちください。

表示

ス	キ	ャ	ン		カ	ノ	ウ								
											0	0	0	0	0

状態　スキャナが待機中です。このままの状態で10分間何も操作されないとスリープモードに移行します。

表示

ス	リ	ー	フ	゜	チ	ュ	ウ	.	.	.					

状態　スキャナがスリープモードに移行してます。コンピュータからの信号または、操作パネルのキーで復帰します。

表示

カ	ウ	ン	ト		オ	ン	リ	ー		モ	ー	ト	゛		
											0	0	0	0	0

状態　スキャナがカウントオンリーモードになっています。（→P.55「カウントオンリーモード」）

表示

0	1	:	X	X	X	X	X	X	X	X					

状態　スキャナがジョブモードになっています。[Start]ボタンを押してスキャンを行なうか、[Stop]　ジョブモードを解除します。（→P.51「ジョブモード」）

6.5 こんなときは

その他に以下のような状況が考えられます。それぞれの状況に応じた方法で対処してください。

● 表示パネルが英語で表示される。

原因	**ユーザーモードで英語表示に設定されている**
対処方法	ユーザーモードで日本語表示に変更してください。(→P.60「ユーザーモードについて」)

● 表示パネルが暗い（または明るい）

原因	**表示パネルの明るさの調整が不適切です。**
対処方法	ユーザーモードで表示パネルの明るさを調整してください。(→P.60「ユーザーモードについて」)

● フィーダでスキャンできない。

原因	**［読み取り面］の設定が「フラットベット」になっている。**
対処方法	ISIS/TWAIN ドライバの読み取り面の設定を「フラットベット」以外に設定してください。

● Job ボタンを押してもジョブタイトルが表示されない。

原因 1	**ジョブ設定ツールでジョブを登録していない**
対処方法	ジョブ設定ツールでジョブを登録してください。(→P.35「ジョブ登録ツールの起動方法」)
原因 2	**コンピュータの電源が切れている。または、接続されていない**
対処方法	ジョブのデータは、コンピュータに保存されています。コンピュータとの接続を確認してください。(→ P.24「コンピュータとの接続」)

● ジョブを選択し Start ボタンを押してもジョブ機能が動作しない。

原因 1	**コンピュータの OS が対応していない。**
対処方法	ジョブ機能は、Windows NTには対応していません。他のOSでお使いください。(→ P.22「動作環境の確認」)
原因 2	**Windows のイベント機能で［DR-7080C Job Tool］が起動するように設定されていない**
対処方法	Windowsの「コントロールパネル」→「スキャナとカメラ」からDR-7080Cのプロパティを開き、「イベント」で起動するアプリケーションを［DR-7080C Job Tool］に設定してください。(→P.52「イベント機能の設定」)

第6章

● ジョブを選択しStartボタンを押してもスキャンが行なわれず、「スキャンシッパイ」が表示される。

原因 1　**DR-7080C ISIS/TWAINドライバを他のアプリケーションで使用している。**

対処方法　DR-7080C ISIS/TWAIN ドライバ を使用している他のアプリケーションを終了させてください。

原因 2　**フィーダによる給紙が指定されていて、フィーダに原稿がセットされていない。**

対処方法　フィーダに原稿をセットしてやり直してください。

● USB 接続で正常にスキャンできない。

原因　**SCSI ターミネータがオンになっていない。**

対処方法　本機は、USB 接続で使用する場合でも、SCSI ターミネータがオンになっていないと正常にスキャンできないことがあります。SCSIターミネータは必ずオンにしてお使いください。（→ P.22「動作環境の確認」）

● フィーダが浮いた状態になっている。

原因　**フィーダの位置が、ブック原稿用の位置になっています。**

対処方法　フィーダをいっぱいまで開き、静かに閉じてください。（→ P.44「フラットベットへの原稿台のセットについて」）

第 7 章

メンテナンス

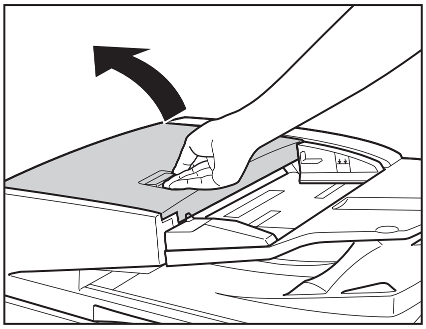
ここでは、スキャナのお手入れ方法について
説明します。

7.1 スタンプカートリッジの交換 78
7.2 日常のお手入れ 80
本体の清掃 80
原稿台ガラス / 黒色圧着板の清掃 81
フィーダ部の清掃 82
電源プラグの清掃 86

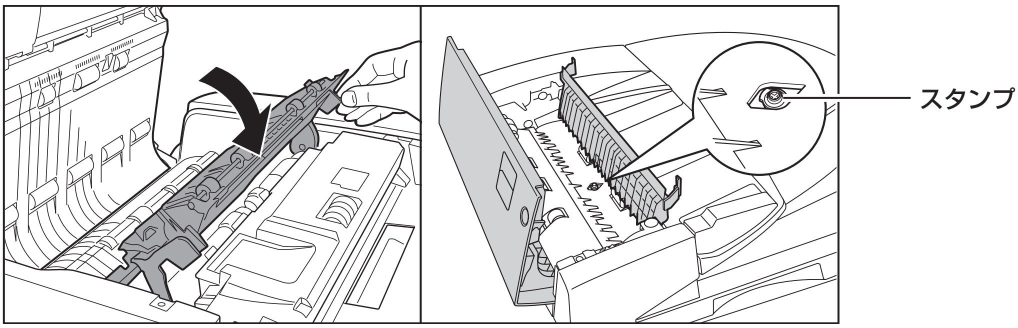
7.1 スタンプカートリッジの交換

オプションのスキャン済スタンプ（→P.20）をお使いの場合、印字が擦れたり、薄くなってきたときには、スタンプカートリッジを交換してください。スタンプカートリッジについては、お買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

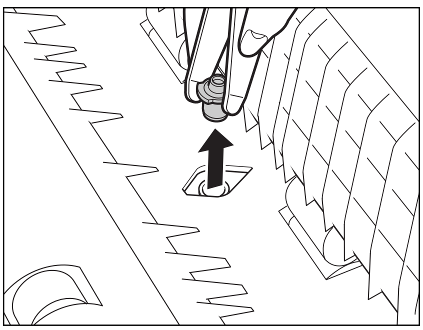
1 フィーダカバーを開きます。



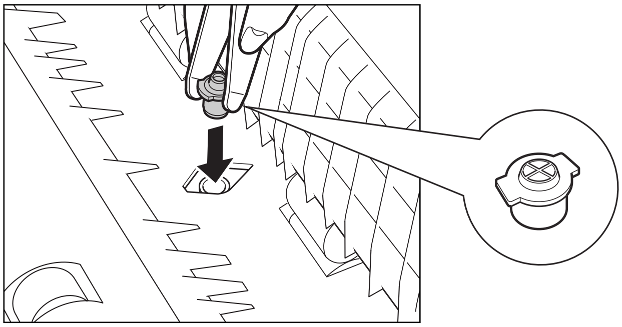
2 奥側のつまみを持って、搬送ガイドを開きます。



3 ピンセットなどを使って古いスタンプカートリッジを取り外します。



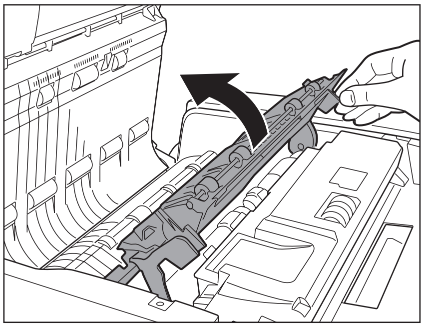
4 新しいスタンプカートリッジをセットします。



お願い

- スタンプカートリッジのスタンプ面が突き出さないようにセットしてください。
- スタンプカートリッジを正規の位置にセットしていないと紙づまりの原因になる場合があります。

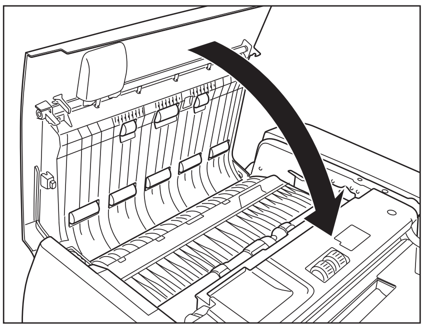
5 搬送ガイドを閉じます。



注意

搬送ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 フィーダカバーを閉じます。



注意

フィーダカバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7.2 日常のお手入れ

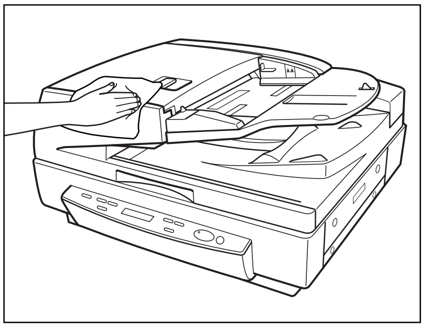
本機の読み取り品質を維持するために、次の箇所を定期的に清掃を行ってください。
・本体
・原稿台ガラス
・黒色圧着板
・フィーダ部

注意

- **清掃の前には、コンピュータとスキャナの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源が入ったまま清掃をすると感電の原因となります。**
- **アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性の有機溶剤は使用しないでください。火災や感電の原因になります。また、スキャナの外装が変形、変色したり溶解する恐れがあります。**
- **読み取りガラス部分に水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。**
- **清掃の際に、水で濡らしすぎると原稿の破損やスキャナ本体の故障の原因になります。**

本体の清掃

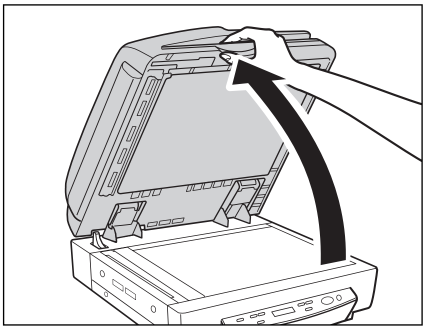
本体表面は、水または中性洗剤を含ませて固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布でから拭きをします。



原稿台ガラス / 黒色圧着板の清掃

原稿台ガラスや黒色圧着板が汚れていると原稿がきれいに読み取れなかったり、原稿のサイズを誤って検知することがあります。原稿台ガラスや黒色圧着板は定期的に清掃してください。

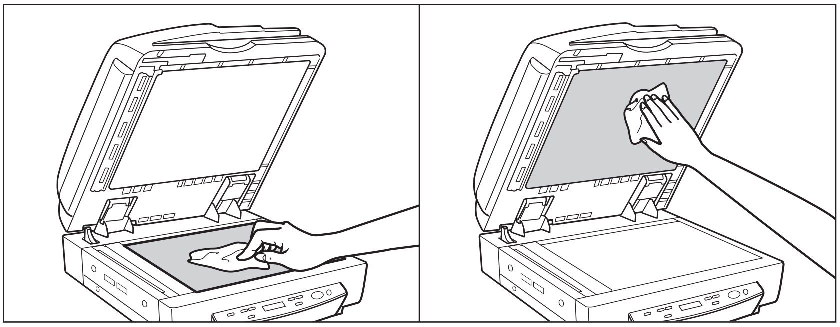
1 フィーダを開きます。



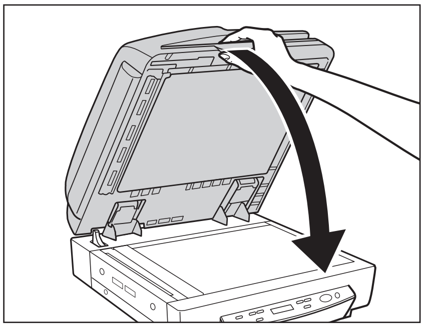
注意

フィーダはスキャナ本体が後方に倒れないように静かに開いてください。けがの原因になることがあります。

2 原稿台ガラスと黒色圧着板を水を含ませて固くしぼった布で清掃したあと、きれいな乾いた布で、から拭きします。



3 フィーダを閉じます。



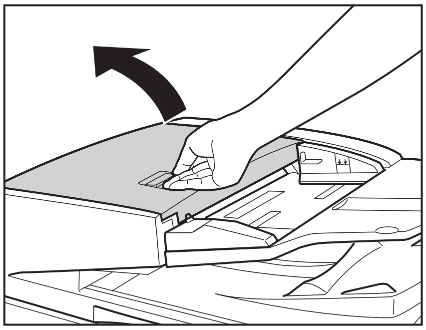
注意

フィーダは、手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

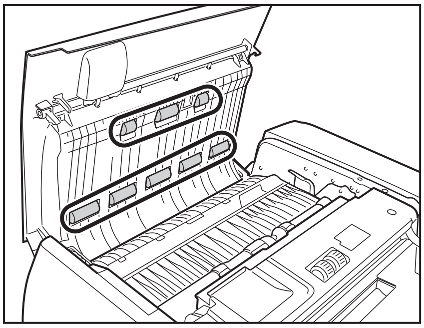
フィーダ部の清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れたりする場合は、フィーダ内部にあるローラや読み取りガラスが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

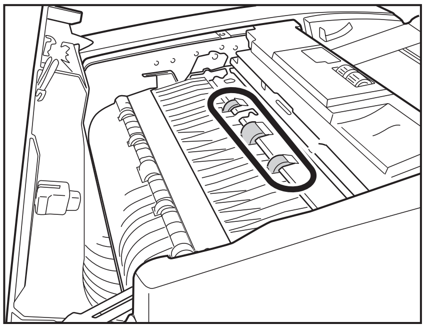
1 フィーダカバーを開きます。



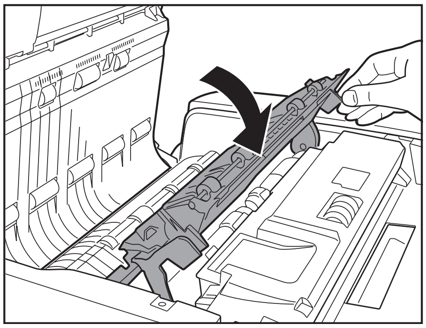
2 フィーダカバー裏側のローラ（8か所）を水を含ませて固くしぼった布で清掃したあと、きれいな乾いた布でから拭きします。



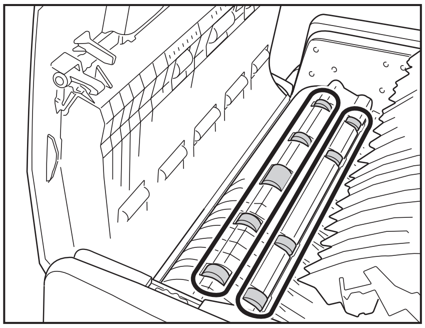
3 ローラ（3か所）を水を含ませて固くしぼった布で清掃したあと、きれいな乾いた布でから拭きします。



4 奥側のつまみを持って、搬送ガイドを開きます。

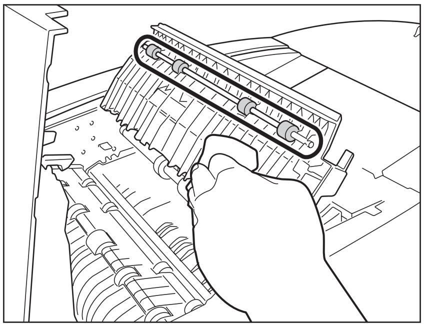


5 ローラ（9か所）を、水を含ませて固くしぼった布で清掃したあと、きれいな乾いた布でから拭きします。

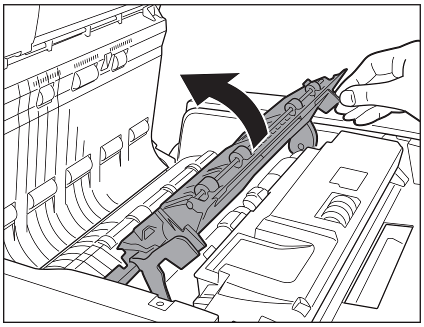


第7章

6 ローラ（4か所）を、水を含ませて固くしぼった布で清掃したあと、きれいな乾いた布で、から拭きします。



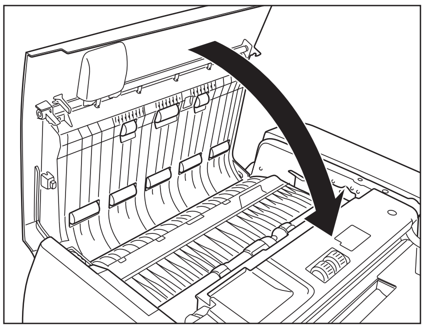
7 搬送ガイドを閉じます。



注意

搬送ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

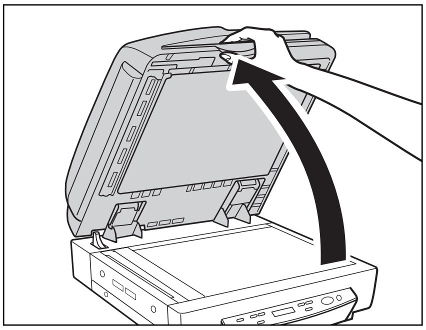
8 フィーダカバーを閉じます。



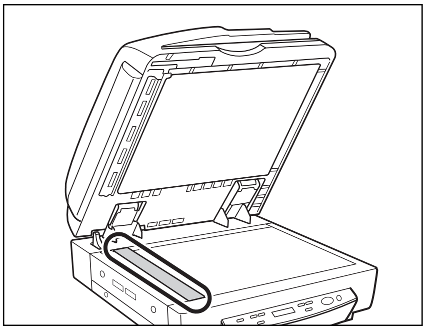
注意

フィーダカバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

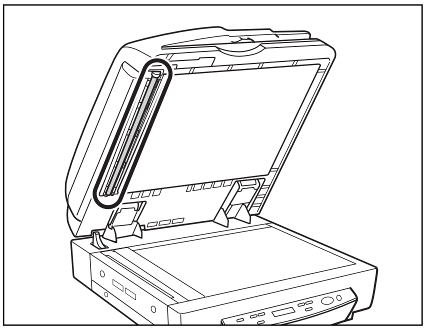
9 フィーダを開きます。



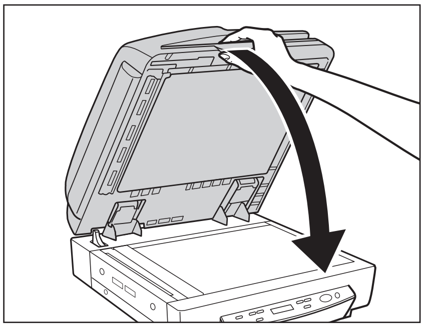
10 原稿読み取り部（細長いガラス部）を、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。



11 ゴムローラを、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。



12 フィーダを閉じます。



注意

フィーダは、手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

電源プラグの清掃

電源プラグは、長期間コンセントに接続したままにすると、コンセントの接続部分にほこりがたまり、火災や感電の原因となります。定期的に清掃してください。

付　録

仕 様 88
　本体仕様 88
　オプション 89
　消耗品 89
　外形寸法図 90
保証とアフターサービス 91
　サービス＆サポートのご案内 92
　保守サービスのご案内 93
ジョブタイトル控え 94
索 引 96

仕様

本体仕様

形式	卓上型フィーダ付フラットベットスキャナ
原稿サイズ	幅:　139.7～304.8 mm 長さ:　128～432mm 128～630mm(長尺モード) 128～540mm(長尺モード：カラー600dpi で読み取る場合)
原稿厚さ	**白黒原稿** ・片面原稿　42～128g/m² (0.06～0.15mm) ・両面原稿　50～128g/m² (0.07～0.15mm) ・白黒/カラー原稿混載時　50～128g/m² (0.07～0.15mm) **カラー原稿**　64～128g/m² (0.08～0.15mm)
給紙方法	フィーダ/フラットベット
読み取り方法	3 ライン CCD
光源	キセノン管
読み取り面	片面（両面読み取り時は、原稿を自動反転）
読み取りモード	白黒、アドバンスト テキストエンハンスメント、誤差拡散、256 階調グレー、24 ビットカラー
読み取り解像度 **(主走査×副走査)**	600 × 600dpi/ 400 × 400dpi/ 300 × 300dpi/ 240 × 240dpi/ 200 × 200dpi/ 150 × 150dpi/ 100 × 100dpi

読み取り速度（原稿サイズ：A4）

白黒２値	片面	300 × 300dpi	70 枚/分
	両面	300 × 300dpi	36 面/分
グレースケール	片面	300 × 300dpi	68 枚/分
	両面	300 × 300dpi	36 面/分
24 ビットカラー	片面	150 × 150dpi	70 枚/分
	両面	150 × 150dpi	36 面/分

自動給紙積載量	最大 約 100 枚（80g/m²) または積載高さ 13mm 以下
インタフェース	SCSI-III / Hi-Speed USB2.0
その他の機能	自動原稿サイズ検知、ドロップアウトカラー、 カウントオンリモード、ジョブ機能
寸法	300(高さ) x 575(幅) x 602(奥行き) mm
質量	約 33.6kg

電源	AC100V(50/60Hz)
消費電力	動作時：最大 151W 待機時：12 W以下（スリープモード）
騒音	78dB 以下
使用環境	温度：15℃-30℃ 湿度：25%-80%RH

- 上記の機能はお使いのアプリケーションソフトウェアで対応している場合に使用できます。
- お使いのコンピュータの性能やソフトウェアによっては実現しない場合があります。

製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

オプション

スタンプユニット 原稿の読み取った面にスキャン済みのスタンプを押印します。（→ P.20「スタンプユニット」）

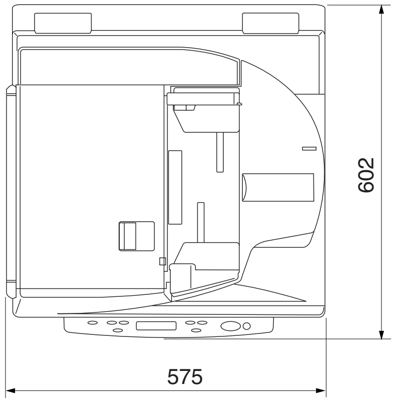
消耗品

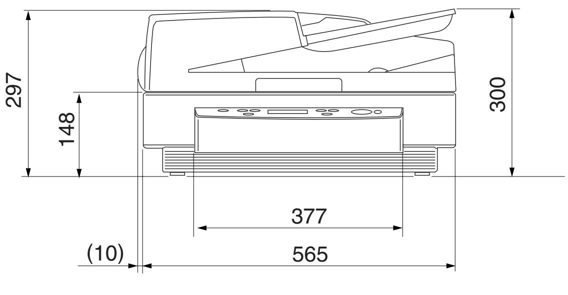
スタンプカートリッジ スタンプユニットで使用するスタンプカートリッジです。

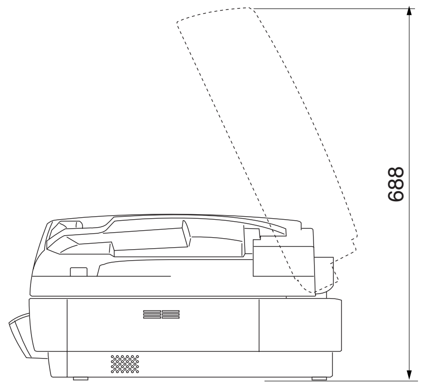
- オプション品および消耗品についての詳細はお買い求めになった販売店または担当サービスにお問い合わせください。

外形寸法図

（単位：mm）







保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または次ページに記載されているサービス窓口へご相談ください。

■修理を依頼される前に

63 ページの「困ったときは」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 7 年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

付録

サービス＆サポートのご案内

● お客様相談センター

取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター
全国共通電話番号　**050-555-90072**

受付時間：　＜平日＞　9:00～12:00／13:00～17:00
（土日祝日と年末年始、弊社休業日は休まさせていただきます。）

※ 上記番号は050から始まるIP電話（株式会社エヌ・ティ・ティ　エムイー（NTT-ME）のXePhion Call Direct）を利用しています。
NTTの固定電話（一般回線）から地域・時間帯にかかわらず同一通話料金（10.4円／3分）でご利用になれます。

※ 携帯電話・PHSをご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合せください。尚、一部のPHSからはご利用いただけませんのでご了承願います。

※ お客さまが050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。IP電話からのご利用は、IP電話事業者間の接続状況によります。NTT-MEのXePhion Call Directの上記番号との通話（接続）可否については、ご契約のプロバイダーにお問い合せください。IP電話からつながらない場合の事象（話中音、アナウンス、ブザー音など）はプロバイダーによって異なります。
また、IP電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダーによって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合せください。

※ 上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、043-211-9156 におかけくださいますようお願いいたします。

※ お客様相談センターの詳細につきましてはキヤノンホームページ (http://cweb.canon.jp/e-support/rc/) をご参照ください、

●消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキヤノン製品取扱店およびキヤノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

●キヤノンホームページ　http://canon.jp/

※ http://canon.jp/support では、製品情報、最新ドライバのダウンロード、QA検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。

※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ 通信料はお客様のご負担になります。

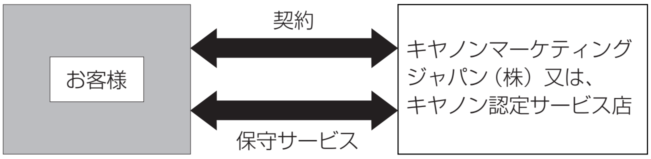
保守サービスのご案内

■ **ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために**

このたびはドキュメントスキャナをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行ないます。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



■ **精密機器だからこそ保守契約が必要です**

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ出費が発生します。そこで、トラブルが起こってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキヤノンの保守契約制度です。

キヤノン保守契約制度のメリット

■ **都度の修理料金は不要**

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ **保守点検の実施**

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

※天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。
※消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります。

購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。
キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いします。

ジョブタイトル控え

ジョブ登録ツール（→ P.36）で登録したジョブタイトルを控えるためページです。
本ページと次のページをコピーし、スキャナの近くに置いてお使いください。

Job No.	ジョブタイトル	ファンクション
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print

Job No.	ジョブタイトル	ファンクション
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print
		☐Scan To PC ☐ Scan To Mail ☐ Scan To Print

索引

C

CapturePerfect 32

I

ISIS/TWAIN ドライバ 32

J

JOB 登録ツール 32

S

SCSI ID 26
SCSI カード 22
SCSI ケーブル 25
SCSI コネクタ 17
SCSI 接続 25

U

USB インターフェースケーブル 24
USB コネクタ 17
USB 接続 24

ア行

アースコード 28
アース端子 17
移動するとき 10
イベント機能 52
エラーコード 73
エラーメッセージ 72
オプション 89

カ行

外形寸法図 90
開閉検知センサ .... 16，44
開閉レバー 15
カウントオンリーモード .... 55，60
各部の名称 15
紙づまり
　原因 70
　処理 67
画面コントラスト 61
給紙方法 47
　自動給紙 50
　パネル給紙 49
　標準給紙 48
黒色圧着板 16
原稿 40
　種類 40
　積載量 41
　セット 42
原稿給紙トレイ 15
原稿検知機能 60
原稿セット表示 15
原稿台ガラス 16
原稿について .... 40，42
　原稿の種類 40
　原稿のセット .... 42，44
原稿排紙トレイ 15
困ったときは 63
こんなときは 75
コンピュータとの接続 24

サ行

サポート 92
自動給紙 50
仕様 88
使用前の確認 14
省電力モード 60
消耗品 89
ジョブ機能 19
ジョブ登録ツール 51
ジョブモード 51
推奨 SCSI カード 22
スタンプ .... 78，79

スタンプユニット 20
スライドガイド 15
清掃
　圧板 81
　原稿検知センサ 81
　原稿台ガラス 81
　電源プラグ 86
　フィーダ部 82
　本体 80
　読み取りガラス 82
設置場所について 8
操作パネル .... 15，18
　Enter キー 18
　Job キー 18
　Menu キー 18
　New File キー 18
　Set キー 18
　Start キー 18
　Stop キー 18
ソフトウエア 32
　アンインストール 37
　使用方法 33

タ行

ターミネータ .... 24，26
長尺モード 60
通気孔 17
ディップスイッチ 17
電源コード 28
電源コネクタ 17
電源スイッチ .... 16，29
電源について 9
電源の OFF 30
電源の ON 29
動作環境 22
特長 12

ナ行

日常のお手入れ 80
日常の取り扱い 6

ハ行

パッチコードシート 56
　使い方 57
パッチコードパターン 56
パネル給紙 49
表示パネル 18
標準給紙 48
ファイル区切り 56
フィーダ 42
フィーダカバー 15
フラットベット .... 16，44
保証とアフターサービス 91

マ行

メッセージ 72
メンテナンス 77

ヤ行

ユーザーモード
　機能 60
　設定方法 62
輸送用ビス 14

付録

メモ

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒 108-8011 東京都港区港南 2-16-6　CANON S TOWER

PUB.CE-IJ-561